

できることから始めよう！

# トラック交差点事故防止マニュアル ～ 交差点事故撲滅キット～

## 《 研修資料 》

平成28年データ版

平成29年7月

公益社団法人全日本トラック協会



## はじめに ～ 交差点事故撲滅キットの目的・ガイド～

- 国内物流の基幹的役割を担うトラック運送業界は、輸送の安全確保を最優先課題とし、様々な事故防止対策の取り組みを進めています。
- 全日本トラック協会では、国土交通省の「総合安全プラン2009」を踏まえて策定した「トラック事業における総合安全プラン2009」において、平成30年までに「交通事故による死者数を220人以下」、「人身事故件数を15,000件以下」とする目標を掲げ、各種対策を推進していますが、依然として多くの人身事故が発生しています。
- こうしたなか、事業用トラックが関係する死亡事故全体の約3分の1を占める、交差点における交通事故について、「トラック交差点事故防止マニュアル」活用セミナーの開催等を通じて積極的に事故防止に取り組んできました。
- 全日本トラック協会では、事業用トラックに係わる交差点事故の防止に向けて、平成28年に発生した交通事故の分析結果等を踏まえ、事故要因とその対策を踏まえた「トラック交差点事故防止マニュアル ～交差点事故撲滅キット～」の内容を一新しました。「追突事故撲滅キット」と同様、本マニュアルを、日常の安全指導及び安全のマネジメント双方にご活用ください。

## 本資料の目的

本資料は、トラックの交差点事故について、**重大性と発生状況を正しく理解し**、その要因を踏まえて、**事故を防ぐ安全行動を学ぶ**ためものです。正しい安全行動を習慣付け、事故防止に取り組みましょう。

本資料では、特に断りのない限り、**事業用トラック（軽を除く）による交差点で発生する事故**を扱います。

### 【データの出所に関する記載】

本資料内で使われるデータの出所については、特に断りのない限り下記をもとにしています。

公益財団法人交通事故総合分析センター

- ① 平成28年に発生した事業用トラック(軽貨物除く)が第一当事者となる交通事故
- ② ①のうち、道路形状別で「交差点」において発生した「追突事故を除く」交通事故

## 本資料の構成と使い方

- 本資料は、章ごとに構成されています。複数回の研修に分けて活用することができます。
- 本資料は、座学で学ぶ内容のほか、内容の理解度を深める演習を含めています。演習は、小集団で行うことも可能です。演習に該当するページはあらかじめコピーをとり、事前に受講者に配付することをお勧めします。
- 演習に該当するページでは、講師が受講者に対して演習への回答を促します。日付、受講者を記載し、内容を管理者と受講者で確認しましょう。
- 本資料は、業界のデータをもとに作成しています。一方で、自社のデータや事例に差し替えたり、ドラレコ映像データを交えたりして活用できます。受講者の当事者意識を更に高め、効果的指導に活用しましょう。
- 研修時には、巻末にある受講記録簿を活用し、実施の記録をしましょう。

## 目次

1. 交差点事故の重大性
2. 交差点事故の特徴と要因
3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動
4. 参考情報
5. 演習回答
6. 交差点事故防止マニュアル  
～ 交差点事故撲滅キット ～ の活用

## トピックス：指導・監督指針の改正

国土交通省による準中型免許創設に伴い、ドライバー教育のガイドラインである「指導・監督指針」※の一部が改正され、2017年3月に施行されました。この改正により、一般的な指導・監督指針が一部追加され、また初任ドライバーに対しては座学15時間以上・実技20時間以上の指導が義務付けされる等、ドライバー教育の内容が大幅に強化されました

※国土交通省告示第1366号 「貨物自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う指導及び監督の指針」



### 一般ドライバー

義務化

指導項目が1項目追加され  
合計**12**項目

指導内容

従来の11項目へは、  
新たな指導内容が追加



### 初任ドライバー

義務化

一般ドライバー同様  
合計**12**項目

指導時間

指導時間の大幅な拡大

**座学15時間以上、実技20時間以上が義務化**

※特に初任ドライバーへの実技指導が強化



## トピックス：指導・監督指針の改正

### 「一般的な指導及び監督の内容」

題目		改正後の追加内容
1	トラックを運転する場合の心構え	交通事故統計を活用し事故の影響の大きさを理解させる
2	トラックの運行の安全を確保するために遵守すべき基本的事項	規定に基づく日常点検の実施及び適切な運転姿勢での運転の重要性を、それらを怠ったために事故を惹起した事業者及び運転者への処分並びに事故の被害者等に与える心理的影響を説明し、規定を遵守することの重要性を理解させる
3	トラックの構造上の特性	運搬中の貨物が運転に与える影響を確認させるとともに、トレーラを運転する場合にあたっては、運転に際して留意すべき事項を理解させる。この場合、トレーラによりコンテナを運搬する場合にあつては、コンテナロックの重要性も併せて理解させる
4	貨物の正しい積載方法	車両制限令等の軸重規制を遵守した適切な積載方法を理解させる
5	過積載の危険性	過積載運行を行った場合における事業者、運転者及び荷主に対する処分について理解させる
6	危険物を運搬する場合に留意すべき事項	危険物を運搬する事業者にあつては、危険物に該当する貨物の種類及び運搬する前に確認する事項を理解させる。また、タンクローリにより危険物を運搬する場合は、安全に運搬するために留意すべき事項を理解させる
7	適切な運行の経路及び当該経路における道路及び交通の状況	改正なし
8	危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法	自らへの注意喚起の手法として指差し呼称及び安全呼称を行う習慣を体得させる。また、豪雪等の悪天候が運転に与える影響のほか、事故発生時、災害発生時その他緊急時における適切な対応方法を理解させる
9	運転者の運転適性に応じた安全運転	適性診断の結果その他の方法により個々の運転者に自らの運転行動の特性を自覚させる
10	交通事故に関わる運転者の生理的及び心理的要因及びこれらへの対処方法	過労及び医薬品の服用に伴い誘発される眠気による事故の可能性を理解させる。運転者の勤務時間及び乗務時間に係る基準を理解させる
11	健康管理の重要性	ストレスチェック等に基づき精神面の健康管理を行うことの重要性を理解させる
12	安全性向上を図るための装置を備える事業用自動車の適切な運転方法	当該装置の機能への過信及び誤った使用方法が交通事故の要因となるおそれがあることについて事例を説明すること等により、当該事業用自動車の適切な運転方法を理解させる

新設

【出典】 貨物自動車運送事業者が運転者に対して行う指導及び監督の指針の改正概要(国土交通省)を参考に作成

## トピックス：重大事故

大阪府 交差点トレーラ事故  
(平成28年6月)

### トレーラにはねられ車いす女性死亡 夫も重傷

- 大阪市内の交差点で、車いすの女性と押していた夫（共に80代）が、左折してきた大型トレーラ（40代運転者）にはねられ、女性が死亡、夫も重傷を負う事故が起きた。
- 当該運転者は、自動車運転処罰法違反（過失運転致傷）容疑で現行犯逮捕された。

# 1. 交差点事故の重大性



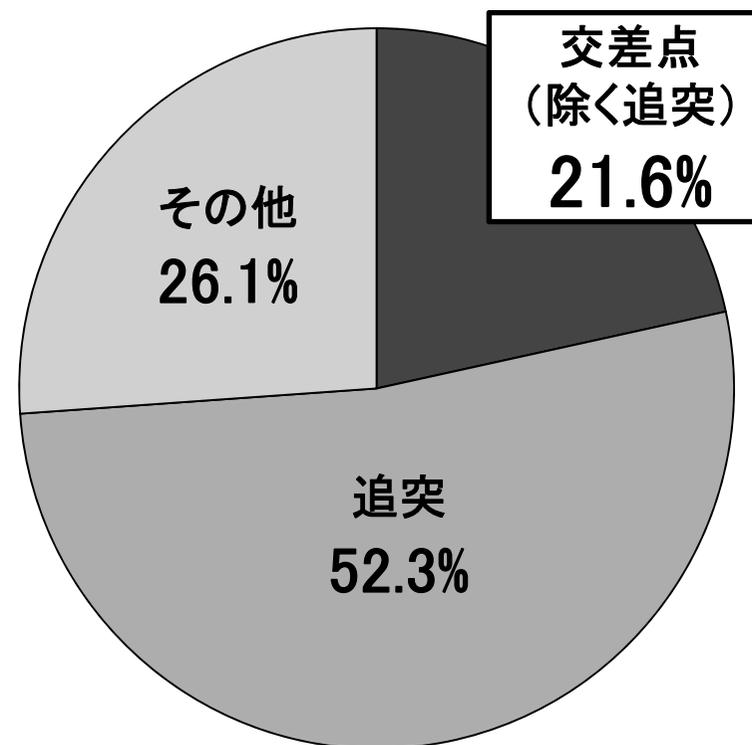
# 1. 交差点事故の重大性

Q1 トラックが第一当事者となる死傷事故に占める、交差点事故の割合は？

- 人身事故のうち、交差点での死傷事故は全体の約2割。
- 追突事故に次いで多く発生。

<年間の死傷事故発生件数>

14,600件のうち  
**3,150件**



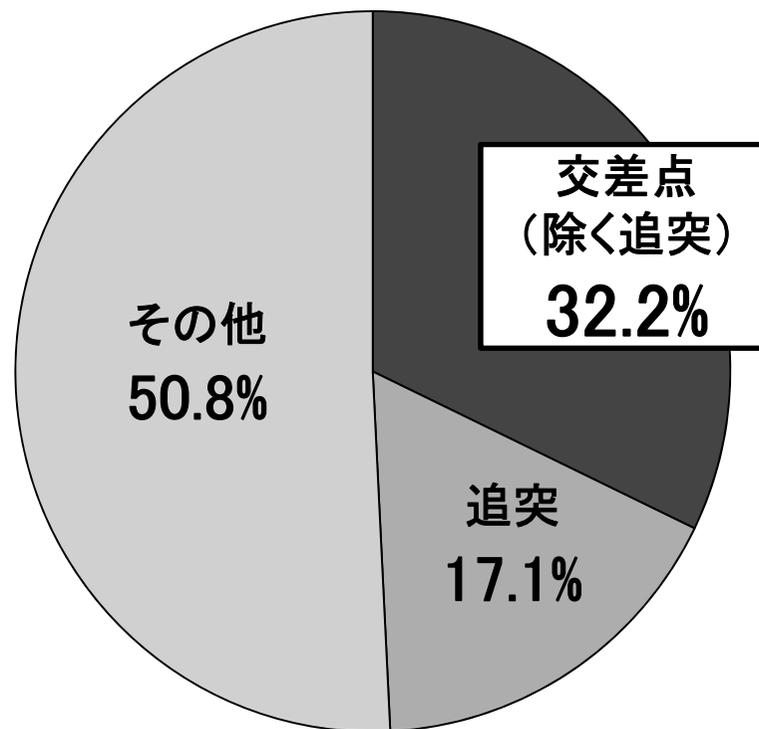
# 1. 交差点事故の重大性

Q2 トラックが第一当事者となる死亡事故に占める、交差点事故の割合は？

- 人身事故のうち、交差点での死亡事故は全体の約3割。
- 追突事故よりも多く発生。

〈年間の死亡事故発生件数〉

258件のうち  
**83件**

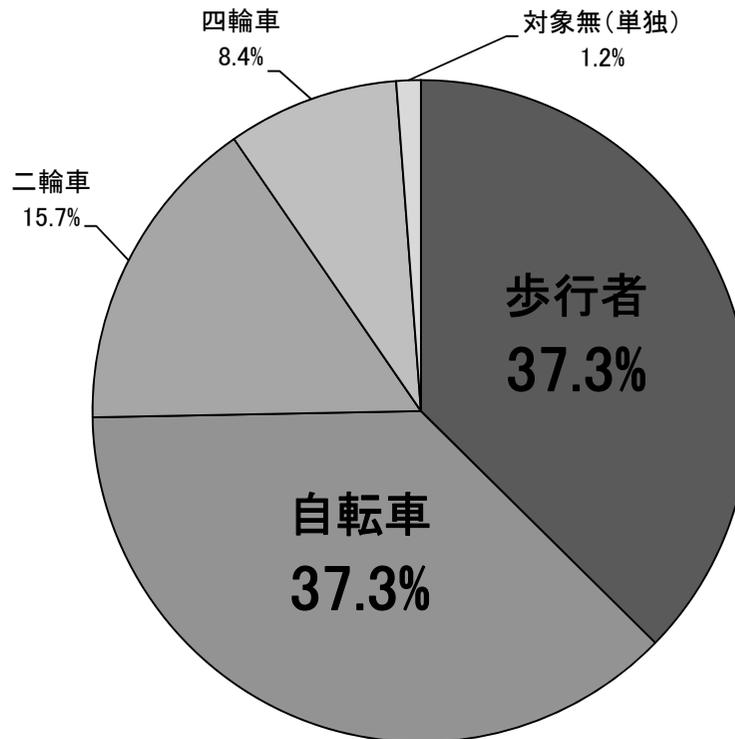


# 1. 交差点事故の重大性

Q3 交差点では、どんな相手と事故を起こしている？

■ 相手が歩行者・自転車となる事故が3/4。

〈交差点における第二当事者別の死亡事故件数(除く追突)〉

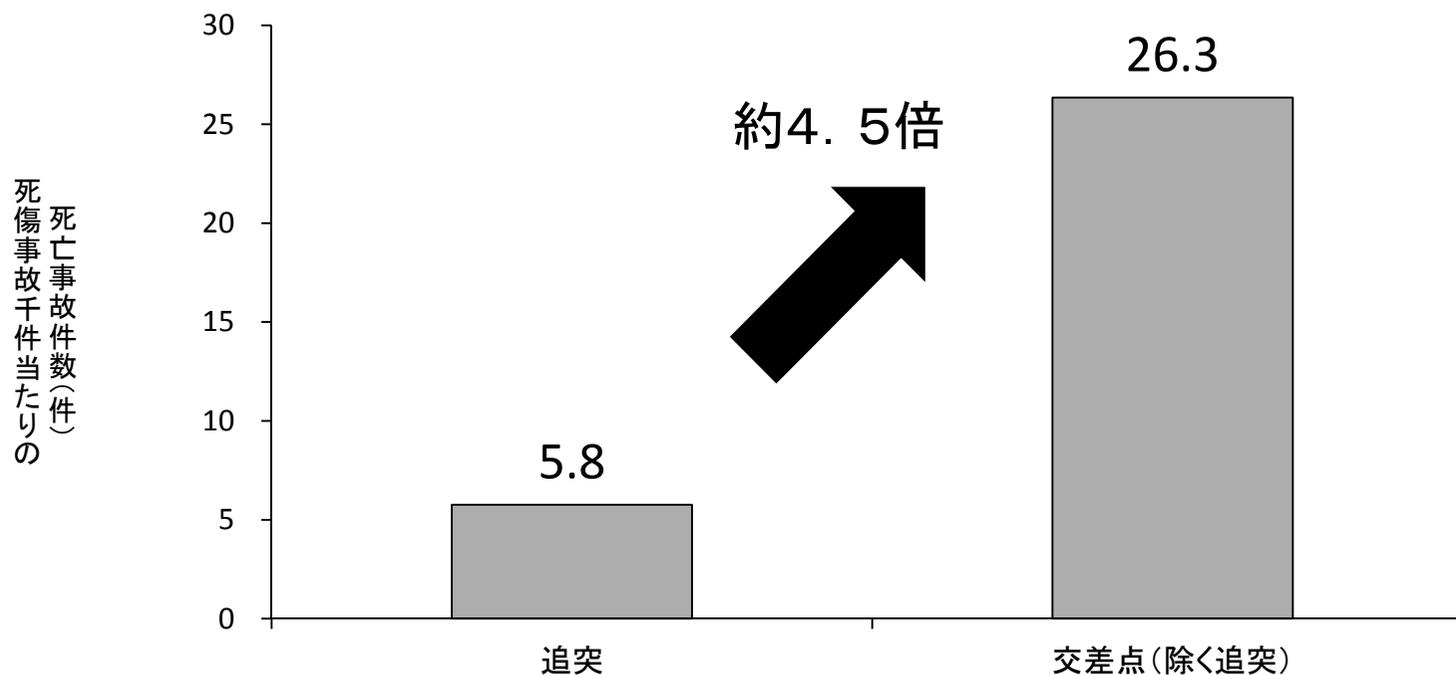


# 1. 交差点事故の重大性

Q4 追突事故と比較して、事故が起こった場合の被害の大きさは？（死亡事故の起こりやすさは？）

■ トラックの交差点事故は、追突事故の約4.5倍、死亡事故につながる。

〈追突事故と交差点事故(除く追突)別の死亡事故の起こりやすさ〉



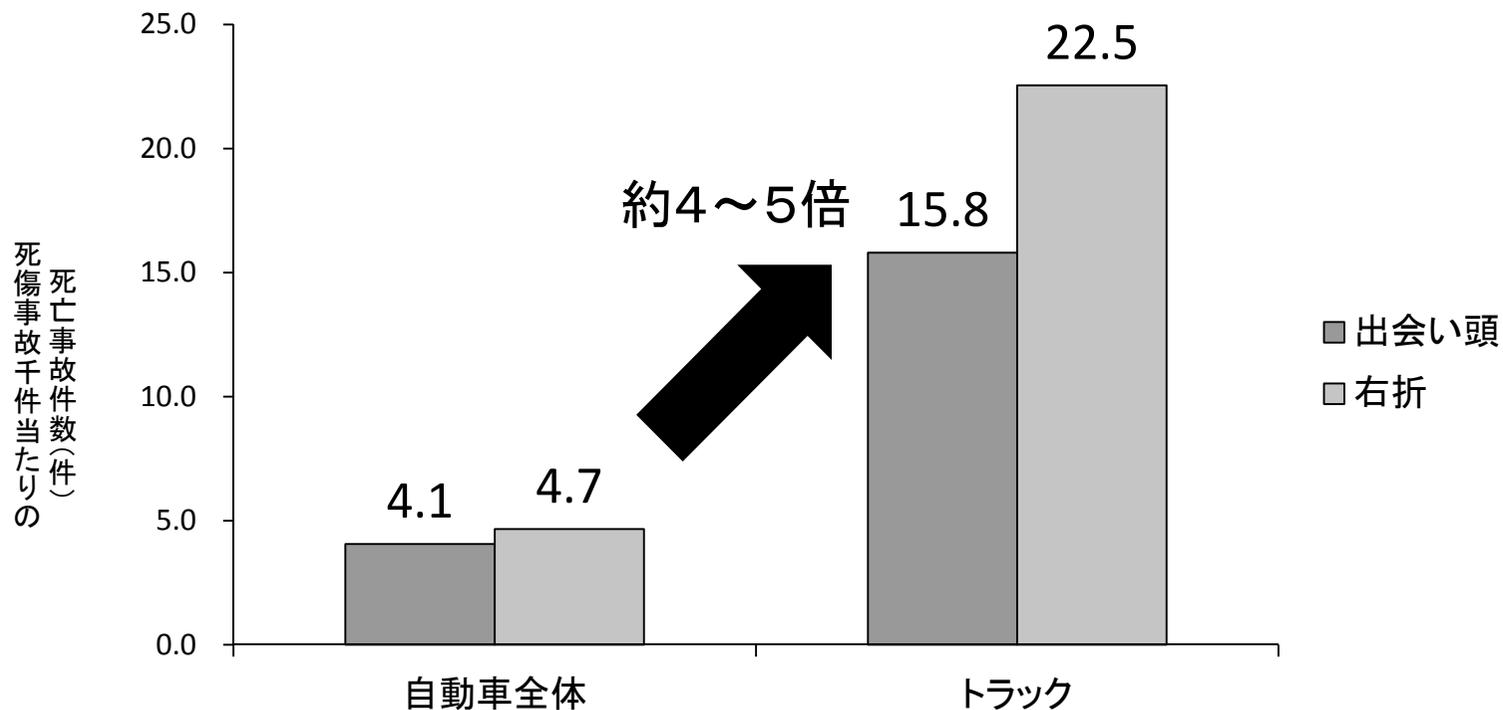
# 1. 交差点事故の重大性

Q5 自動車全体と比較して、事故が起こった場合の被害の大きさは？

■ 「出会い頭」「右折」の人身事故\*に着目すると、トラックは自動車全体に比べ約4～5倍、死亡事故につながる。

\*交差点で発生していることが多いと考えられる「出会い頭」「右折」の事故を対象に分析。

＜自動車全体とトラックにおける死亡事故の起こりやすさ＞



【出典】 事業用自動車の交通事故統計(平成27年版)(公益財団法人交通事故総合分析センター)



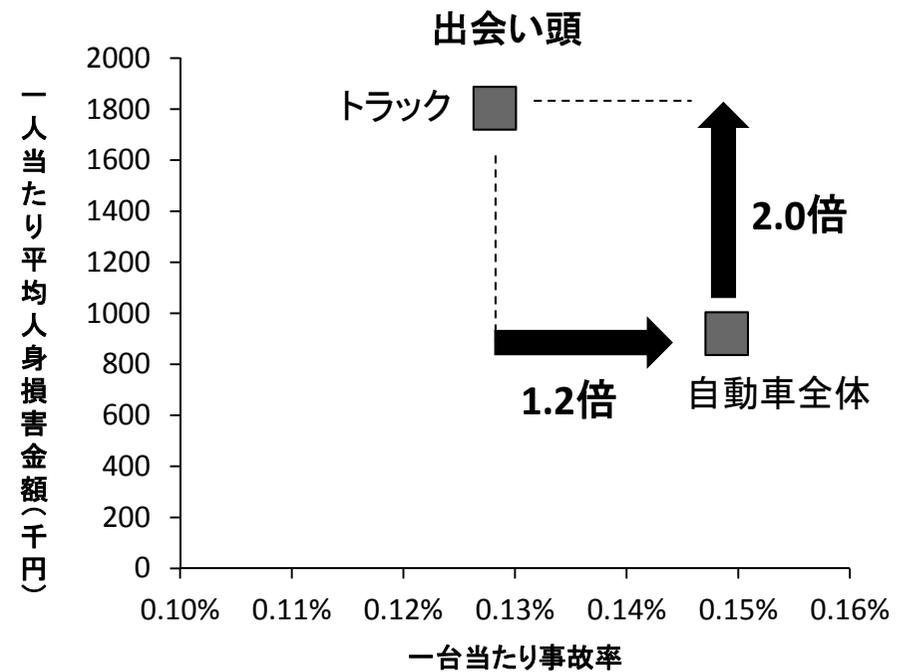
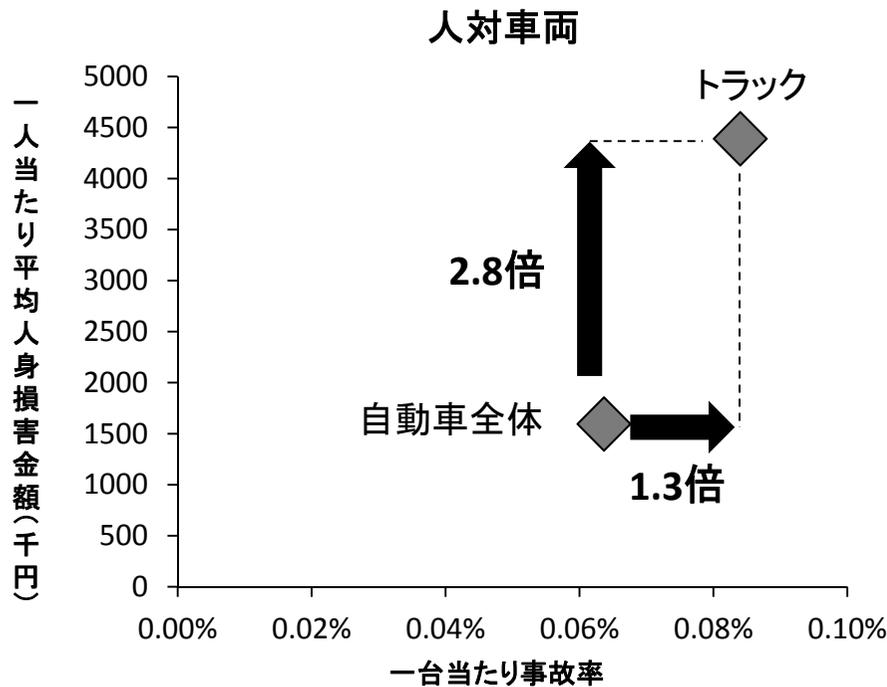
# 1. 交差点事故の重大性

Q6 自動車全体と比較して、事故が起こった場合の被害の大きさは？  
 (事故の起こりやすさ(事故率)や被害の大きさ(損害額)は？)

■ 「人対車両」の人身事故\*に着目すると、自動車全体に比べて、トラックは事故率及び平均人身損害金額ともに大きく、「出会い頭」は事故率は小さいが損害金額は大きい。

\*交差点で発生していることが多いと考えられる「人対車両」「出会い頭」の事故を対象に分析。

〈自動車全体とトラックにおける事故発生状況(事故率及び平均人身損失金額)〉



【出典】・事業用自動車の交通事故統計(平成27年版)(公益社団法人交通事故総合分析センター)  
 ・一般社団法人日本損害保険協会ウェブサイト 自動車保険データ(支払保険金関連)より平成24年のデータ

# 1. 交差点事故の重大性

Q7 交差点事故の経営への影響は？

■ 事故が起これば経営に直結する。

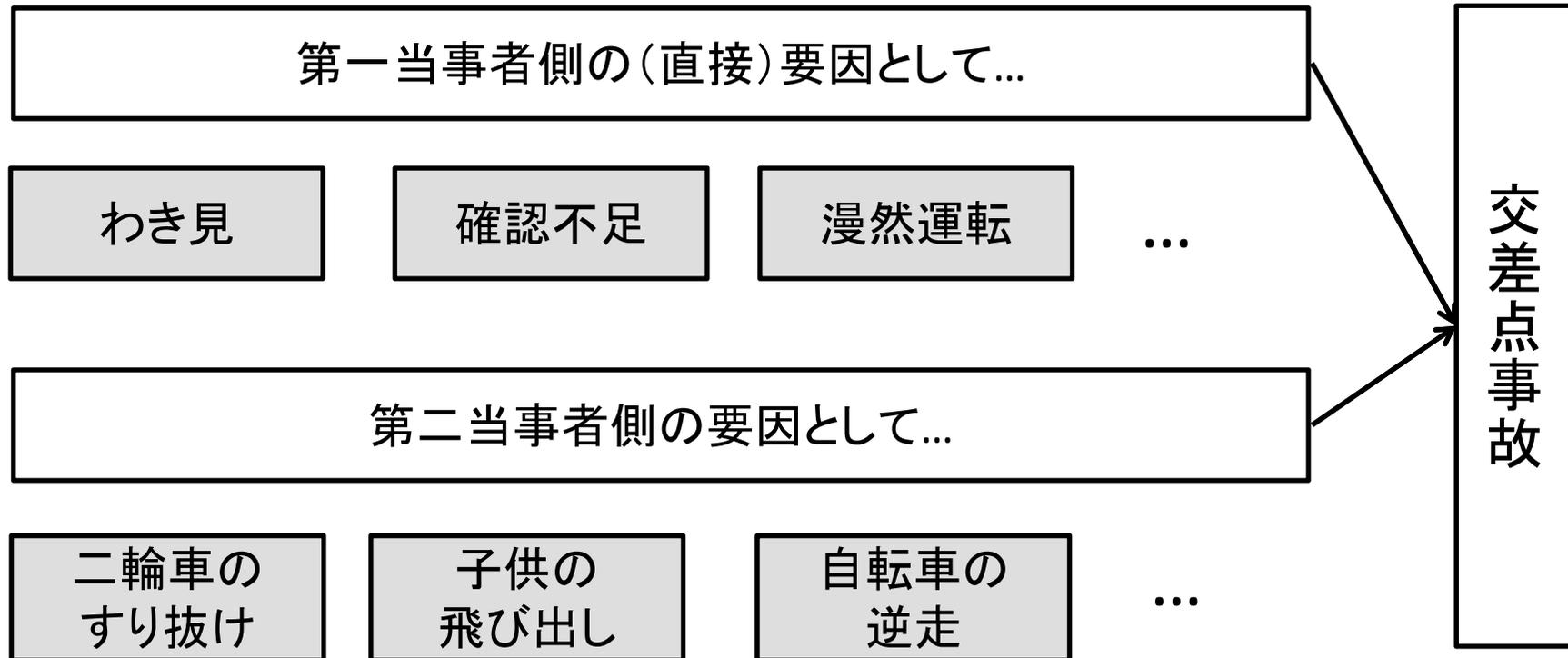
〈経営への影響のイメージ〉



# 1. 交差点事故の重大性

Q8 交差点事故の要因は？

- こちら(第一当事者)側の要因と、相手(第二当事者)側の要因がある。
  - まずは自分がルールを守る。
  - 次に、ルールを守らない相手から自分を守る。





## 2. 交差点事故の特徴と要因

## 2. 交差点事故の特徴と要因

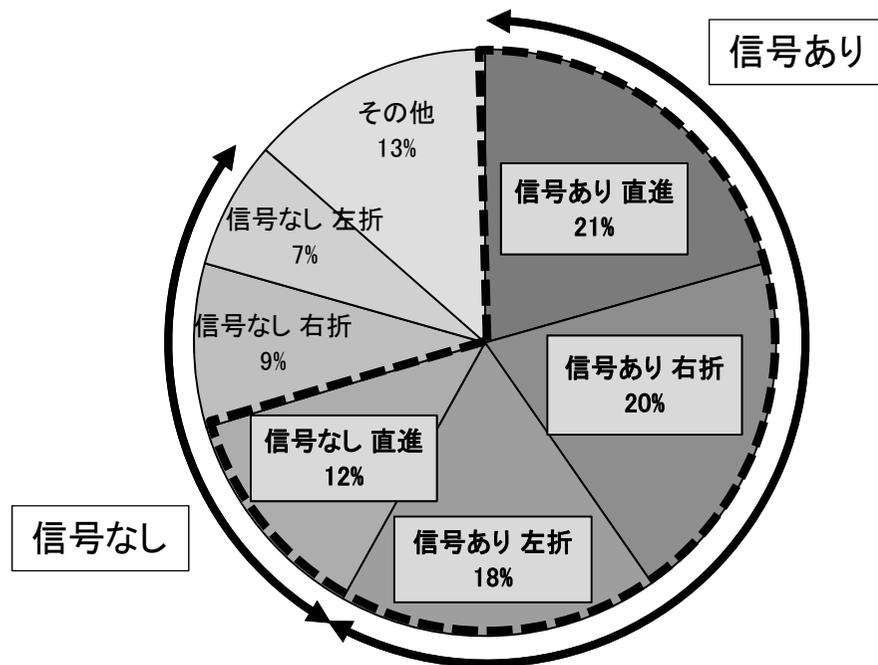
### (1) 多発する事故パターンと特徴

Q1 事故はどうして発生するの？直前の状況は？

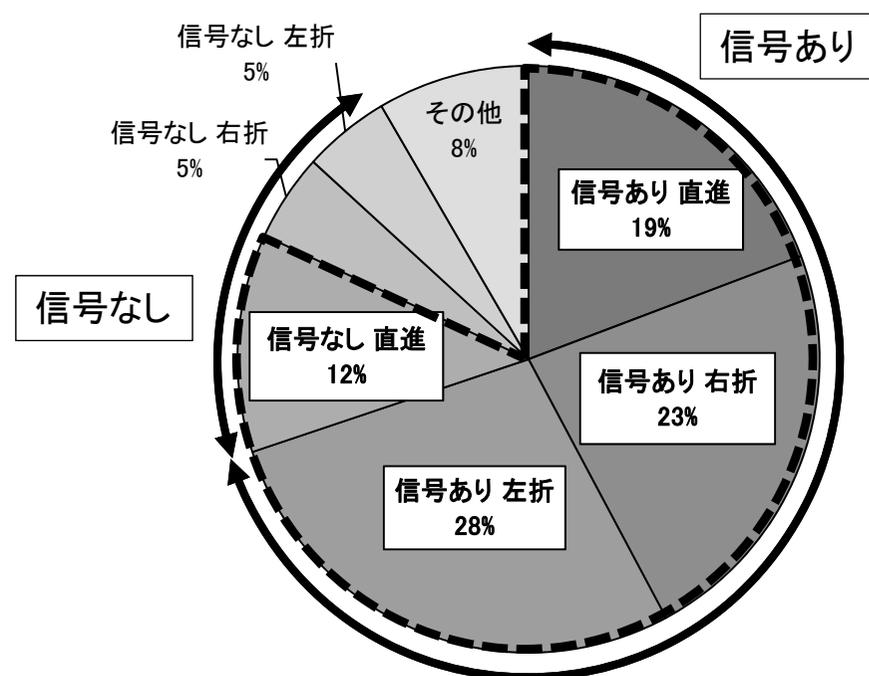
- 信号の有無及び自車行動の別で分析。12パターン中、上位4つの事故パターンで死傷事故の71%、死亡事故の82%を占める。
- 「信号あり・直進」、「信号あり・右折」、「信号あり・左折」、「信号なし・直進」が重要課題。

〈交差点における信号有無・自車行動別の人身事故発生状況〉

死傷事故件数(3,150件)



死亡事故件数(83件)



※その他: 信号あり発進、信号あり進変・追越(抜)、信号ありその他、信号なし発進、信号なし進変・追越(抜)、信号なしその他

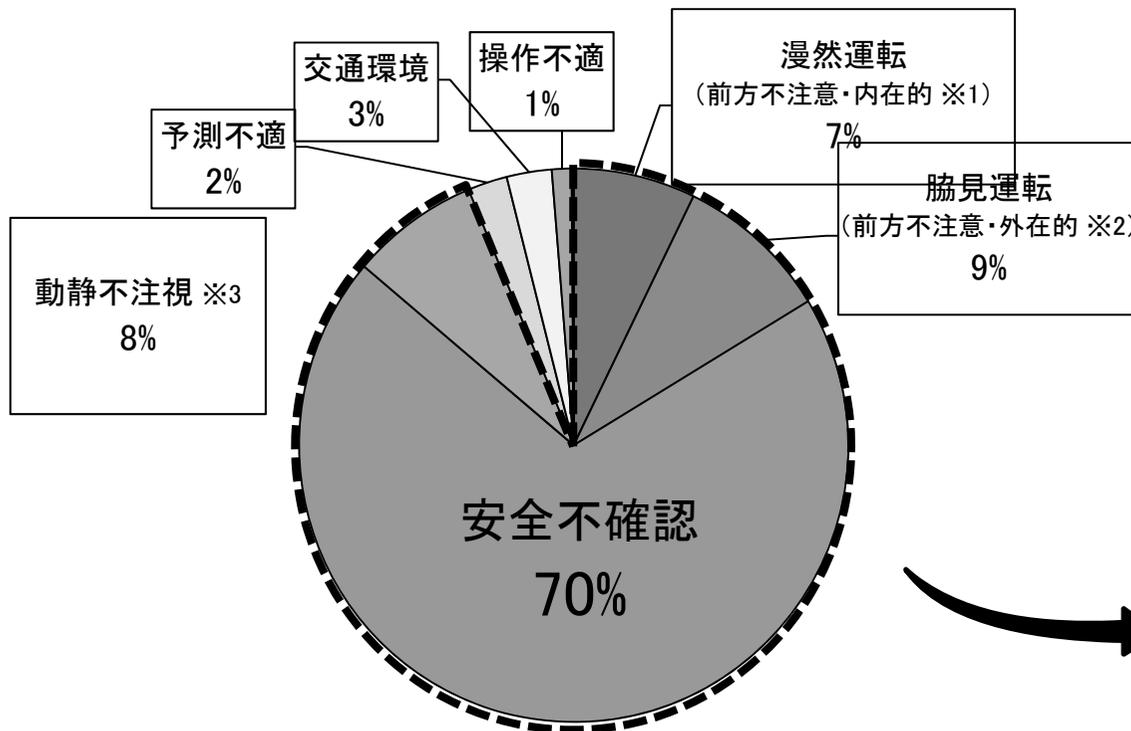
## 2. 交差点事故の特徴と要因

### (2) 事故の要因

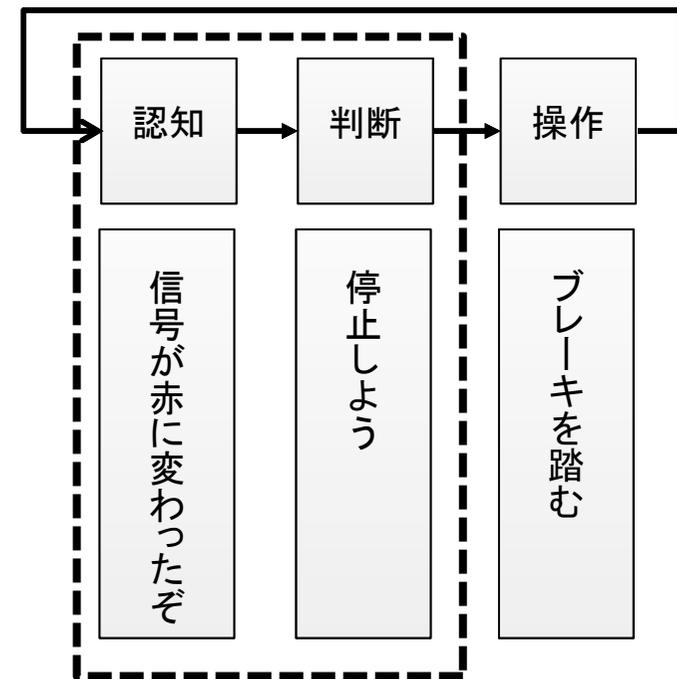
Q1 事故はどうして発生するの？直前の状況は？

- 直接的な事故要因では、**認知・判断に関する項目が約9割**を占める。
- 過密な交通環境にある交差点での事故防止では、適切な認知・判断をするための安全行動が重要。

〈トラックの事故要因区分(人的要因)〉



〈ドライバーの運転中の行動〉



※1:「居眠り運転」、「その他、考え事等の漫然運転」等による前方不注意を指す。  
 ※2:「他の車、歩行者に脇見」、「物を落とした、物を取ろうとした」等による前方不注意を指す。  
 ※3:「相手が譲ってくれると思って注視を怠った」等を指す。



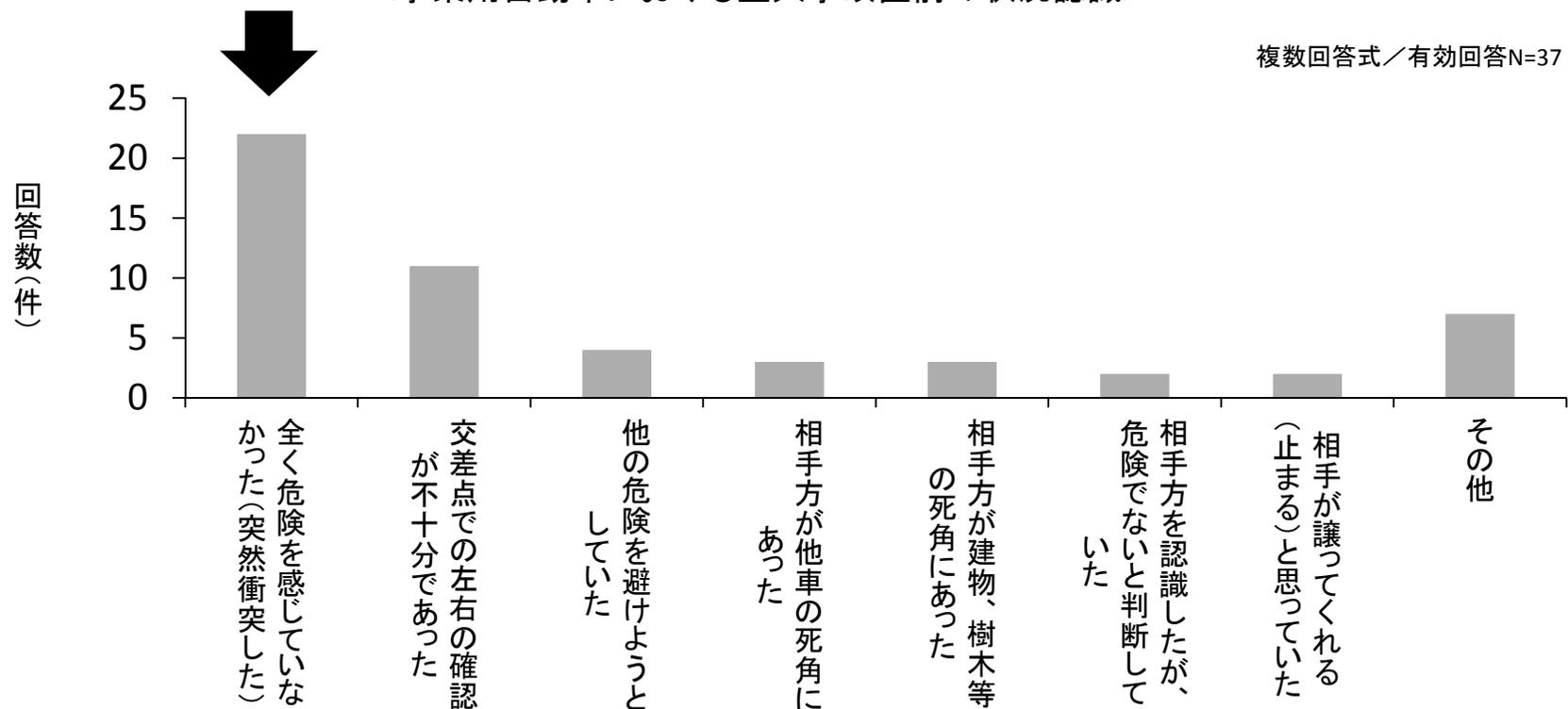
## 2. 交差点事故の特徴と要因

### (2) 事故の要因

Q1 事故はどうして発生するの？直前の状況は？

- ドライバーの事故直前の状況認識について、全く危険を感じていないケースが最も多い。
- 背景には、安全確認の時間を取っていない、毎回同じルートを通ることによる慣れ、疲労にともなう認知力の低下といった要因があると考えられる。

＜事業用自動車における重大事故直前の状況認識＞



【出典】平成25年又は26年に発生したトラックの重大事故に係るデータ集計結果(国土交通省自動車局・公益社団法人全日本トラック協会)

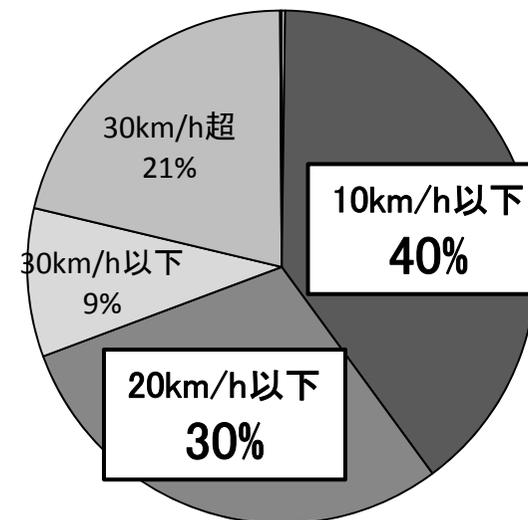
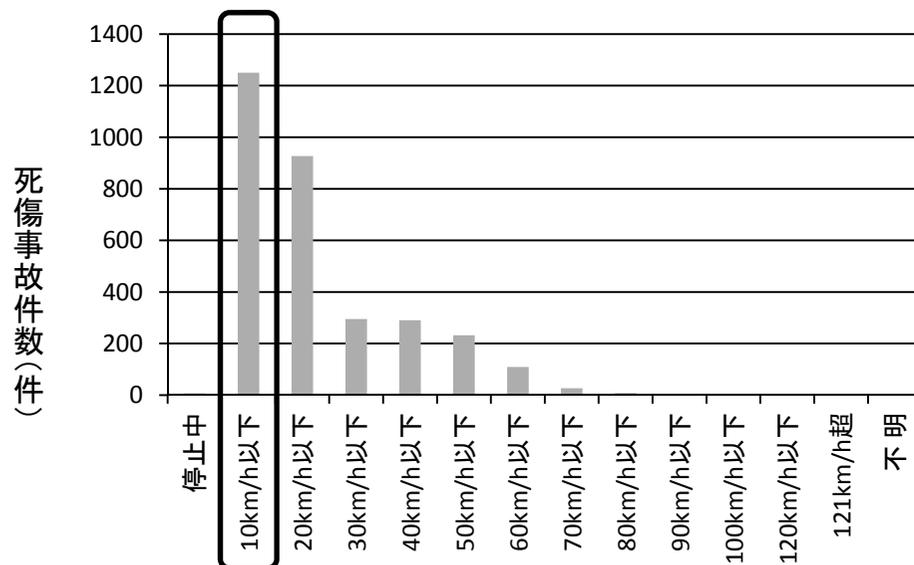
## 2. 交差点事故の特徴と要因

### (2) 事故の要因

Q2 事故はどうして発生するの？ 事故直前の速度は？

- 危険を認知した速度に着目すると、20km/h以下が7割、10km/h以下が4割を占める。
- 交差点のような過密な交通環境では危険の対象が多い。危険を見つけるために、十分に速度を落とす、又はすぐに停止できる速度で走行することが重要。

〈トラックにおける危険認知速度別の人身事故発生状況〉  
(追突事故を除き集計)



## 2. 交差点事故の特徴と要因

### (2) 事故の要因

Q3 事故はどうして発生するの？(直接要因のまとめ)

#### 〈人身事故の直接的要因〉

##### ■ 認知エラーが主な直接的要因

- トラックの人身事故の直接的要因は、安全確認不足に代表される認知の段階の要因が中心である。

##### ■ 直前まで気づいていない

- 相手方の(急な)動向が把握できていない状況がほとんどである。

##### ■ 低速域で起きている

- 危険の対象が多い交差点において、速度を落とし切れていないケースが多く、認知のため時間が不足していると考えられる。

#### 〈人身事故の直接的対策〉 【取り組む安全行動】

##### ■ (認知のために)環境整備する

- 交差点に入る前に速度を十分に落とす。場合によっては、徐行、一時停止する。
- 車両特性上死角が多いため、適切な視界を確保する。
- 疲労等は認知力低下につながることから、適度な緊張感を持ち自己管理する。

##### ■ 適切に認知する

- 危険の対象を知ること、どこに対して優先的に安全確認をすればよいかを身につける。
- 複数の対象に対して同時に安全確認をすることは難しい。重要な安全行動と流れを身につけ、習慣付ける。

## 2. 交差点事故の特徴と要因

### (2) 事故の要因

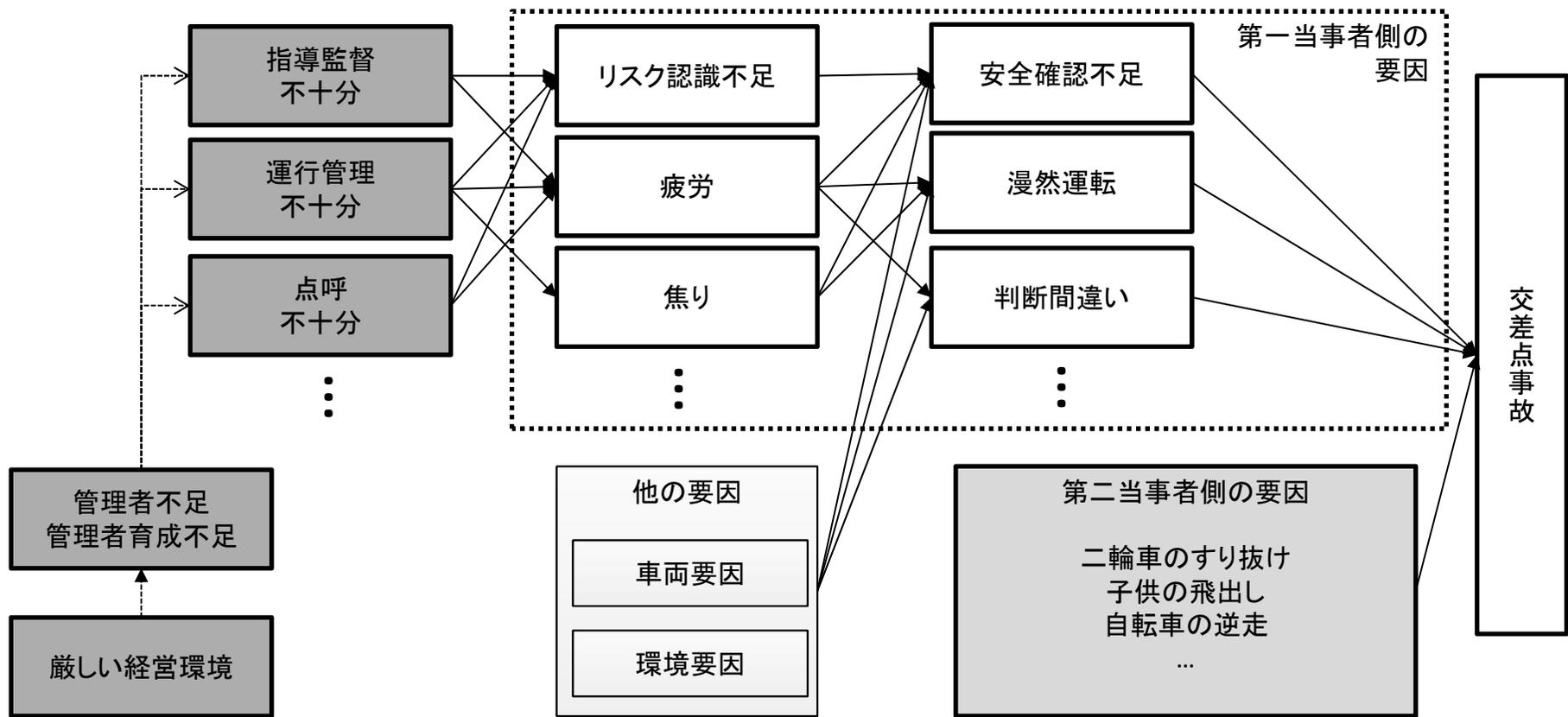


Q4 事故はどうして発生するの？ 要因をもう少し詳しく見てみると...

- 直接的な事故要因の背景には、様々な背景要因\*が数多く存在する。
- 事業者・管理者は、背景要因を踏まえて「ドライバーができることを支援する」視点での対応が求められる。

\*詳細は「4. 参考資料」を参照。

<事故発生の要因関係の例>



## 2. 交差点事故の特徴と要因

日付	受講者	管理者
----	-----	-----

### 演習

以下の問題に教えてください。

演習1 下記の3つの設問について、○か×を選んでください。

(正解はP56)

- (1) 交差点事故で最も多い死亡事故は、信号あり・左折時の事故である。
- (2) 交差点事故の人的要因は、安全不確認が7割を占めている。
- (3) 交差点事故で危険を認知した速度に着目すると、10km/h以下が4割を占めている。

<回答欄>

(1)

(2)

(3)

演習2 交差点事故の特徴について特に気になったことを1つ挙げてください。そしてなぜそう感じたか、他の人の意見はどうか、複数人で話し合ってください。

### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動



### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

事故の発生状況と要因を踏まえ、交差点事故を防止するために特に重要な「7つの安全行動」をまとめた。

事前の環境整備	① 整理・整頓して視界を確保する
交差点進入前の構え	② 適度な緊張感を持ち自己管理する
交差点進入前の認知	③ 事故リスクの少ないルートを走行する
交差点進入前～交差点内の構え	④ ブレーキペダルに足をおき危険に備える
交差点内の認知	⑤ 交差点進入前に安全確認する
	⑥ 適切な軌跡で右折する・左折する
	⑦ 交差点内(特に横断歩道手前)で安全確認する

### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ① 整理・整頓して視界を確保する

##### 【具体的な取組】

- 助手席下の窓やミラー、目視で外部を適切に確認できるよう、車内を整理・整頓する。
- わき見につながるものを手の届かないところにおく。(伝票、ルートマップ、携帯電話等)
- 車両手前の視界を確保するために、適切な運転姿勢を保つ。
- 死角が少なくなるよう、ミラーを調整する。(左右のミラー、アンダーミラー等)

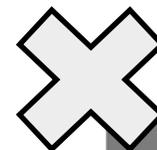
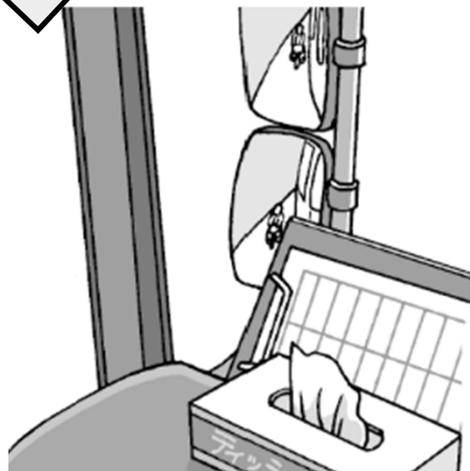
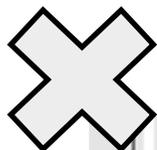


### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ① 整理・整頓して視界を確保する

##### 【事件事例】

- 左のミラーが正しく調整されておらず、左後方から接近する車両が十分に映らず、接触した。
- 携帯電話を見ていたところ、交差点で目の前を逆走する自転車に接触した。
- 荷物が置いてあり助手席下の窓から外が見えない状況のまま交差点を左折したところ、左後方からの自転車に気づかず、接触した。



### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ② 適度な緊張感を持ち自己管理する

##### 【具体的な取組】

- 眠気や疲れを感じたら、早めに休憩をとる。
- 渋滞等により運行に遅延が生じて、焦らず管理者に連絡する。
- 早く業務を終わらせたい気持ちを落ち着かせる。

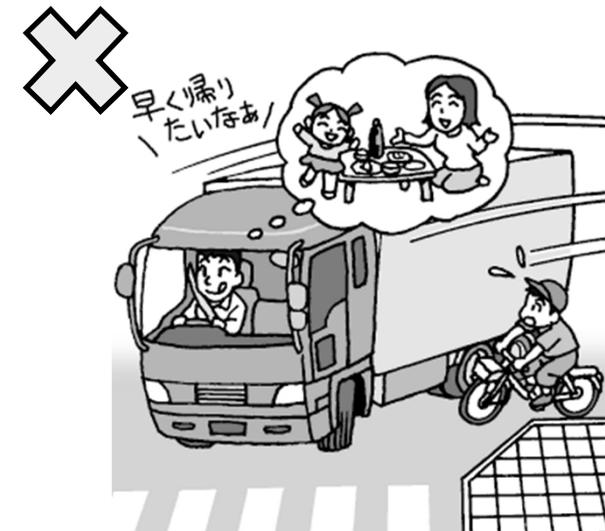
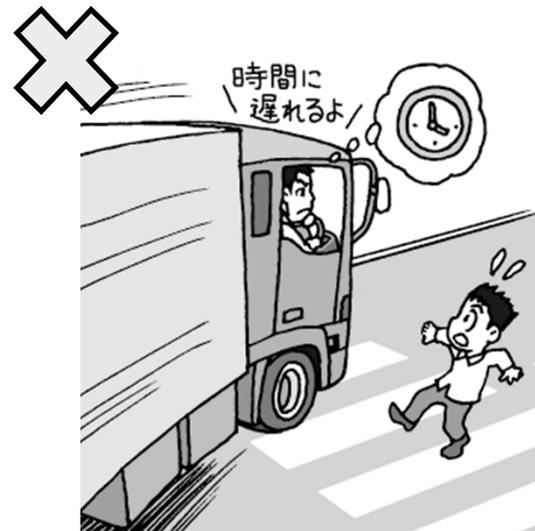
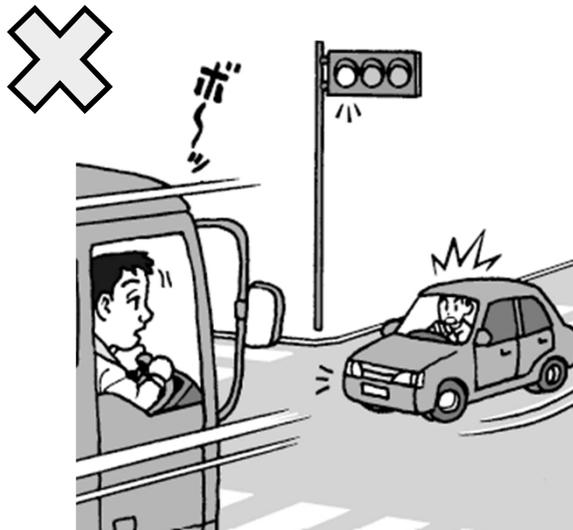


### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ② 適度な緊張感を持ち自己管理する

##### 【事件事例】

- 少し眠気を感じていたが、慣れたルートなのでいつもの休憩地点まで向かおうとしたところ、交差点で右折対向車に気づくのが遅れて接触した。
- 運行が遅延していたため急いでいた。横断歩道を渡ろうとする歩行者がいたものの、先に行けるだろうと思って進んだところ、接触した。
- 早く帰りたい気持ちから、安全確認が不十分のまま交差点を通過したところ、右折対向車を見落として接触した。



### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ③ 事故リスクの少ないルートを選択する

##### 【具体的な取組】

- 信号あり交差点の右左折は、特にリスクが高いことを認識する。
- 事故リスクの多いルートについては、危険箇所を報告・共有する。

##### 【取組例】

ドライバーから集めた危険箇所に関する意見をもとに、自社のヒヤリハットマップを作成する。  
自社独自の情報として、デジタコやドラレコのデータ等を加えることも検討する。



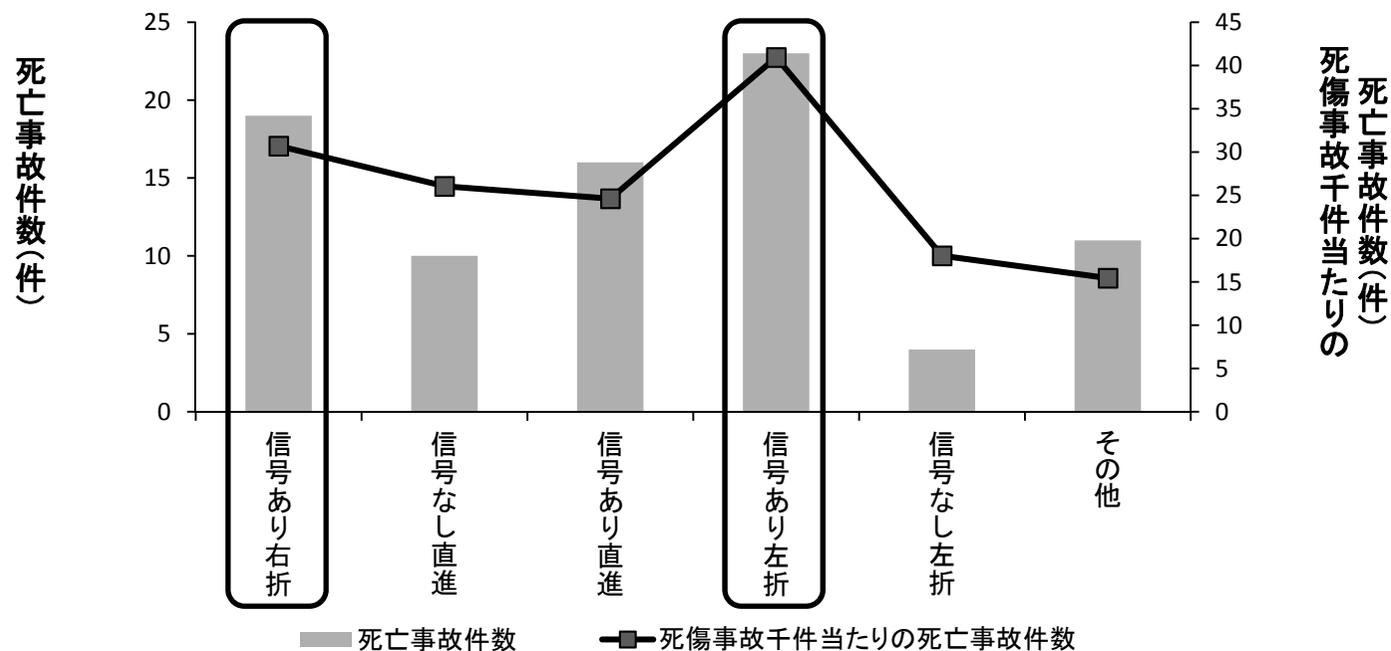
### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ③ 事故リスクの少ないルートを走行する

##### 【事故事例】

- 大きな交差点を右折したところ、横断中の歩行者と接触した。
- 渋滞時を避けるために抜け道を走行中、見通しの悪い交差点で出会い頭に接触した。
- 事故多発交差点で、多発事故と同様の事故を起こした。

〈信号有無・自車行動別の事故発生状況〉

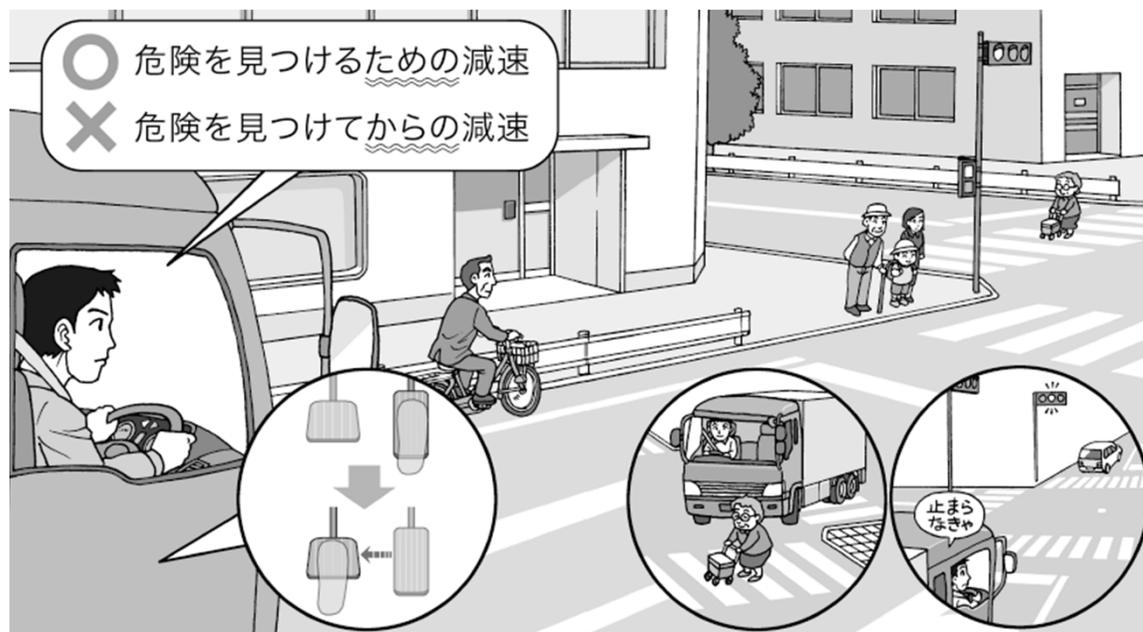


### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ④ ブレーキペダルに足をおき危険に備える

##### 【具体的な取組】

- 右左折時：安全確認するため、交差点進入前に十分減速、徐行又は一時停止する。
- 直進時：ブレーキを踏めるようにする。他車優先時は、停止線で一時停止する。
- プロとして、相手を見つけたら譲る。
- 十分手前から信号を確認し、イエローストップする。



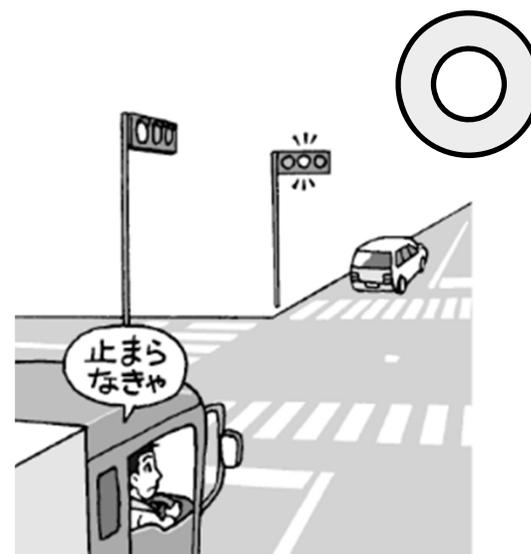
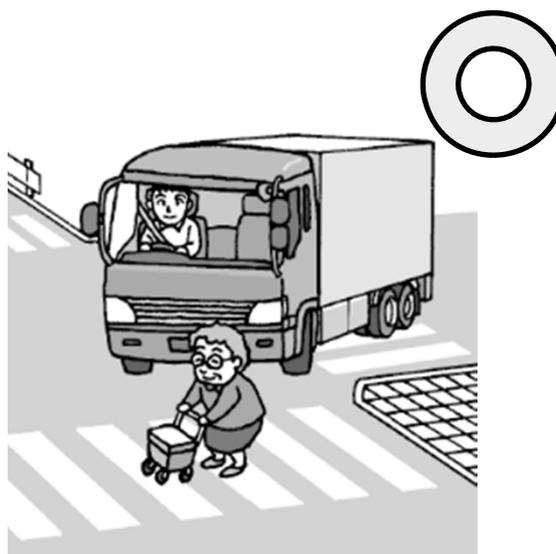
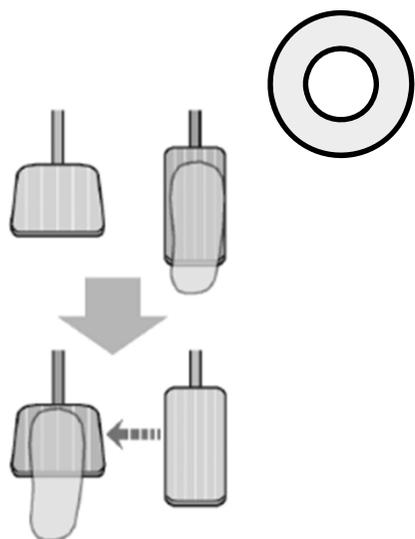
### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ④ ブレーキペダルに足をおき危険に備える

##### 【事件事例】

- 十分減速せずに交差点に進入して左折したところ、左後方からの自転車と接触した。
- 停止線で一時停止せずに交差点に進入したところ、右方からの歩行者と接触した。
- 見通しの悪い自車優先の交差点で、相手の飛び出しに反応が遅れ自転車と接触した。

○危険を見つけるための減速  
×危険を見つけてからの減速

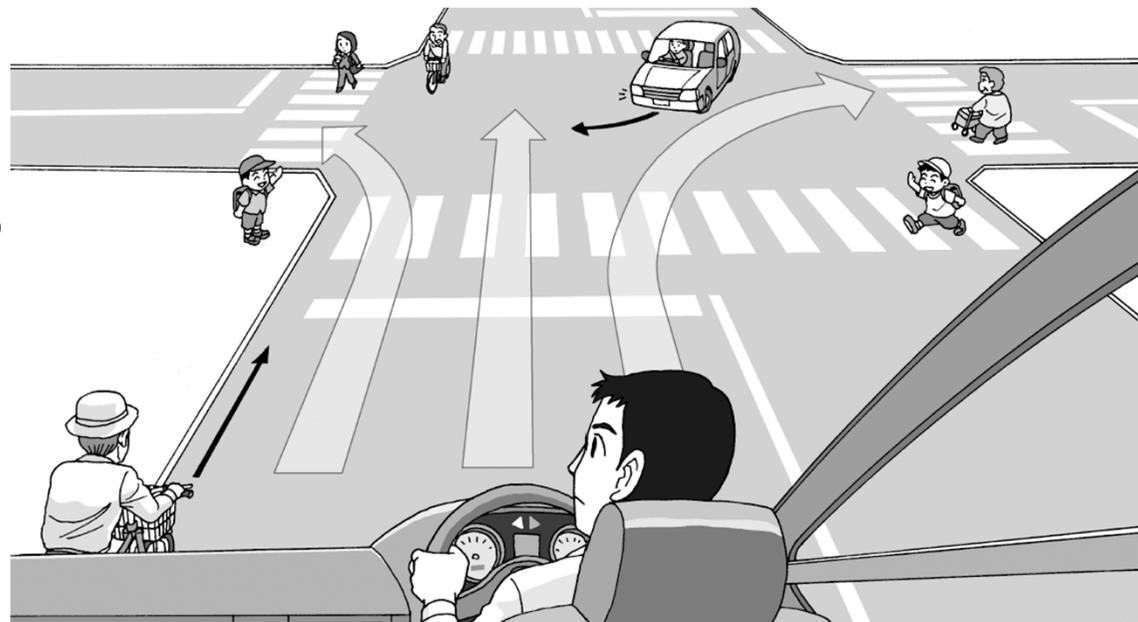


### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ⑤ 交差点進入前に安全確認する

##### 【具体的な取組】

- 左折時：**左方・左後方からの自転車・二輪車等**の動向及び進行先の環境を確認する。
- 右折時：対向車や死角となる二輪車等の動向、進行先の**右方からの歩行者等**の動向及び進行先の環境を確認する。
- 直進時：  
市街地では、前方・並走車両、右折対向車、歩行者や自転車等の動向及び進行先の環境を確認する。他車優先時は、見えるところまで進行し、前方・左右から進行してくる歩行者・自転車等の動向を確認する。

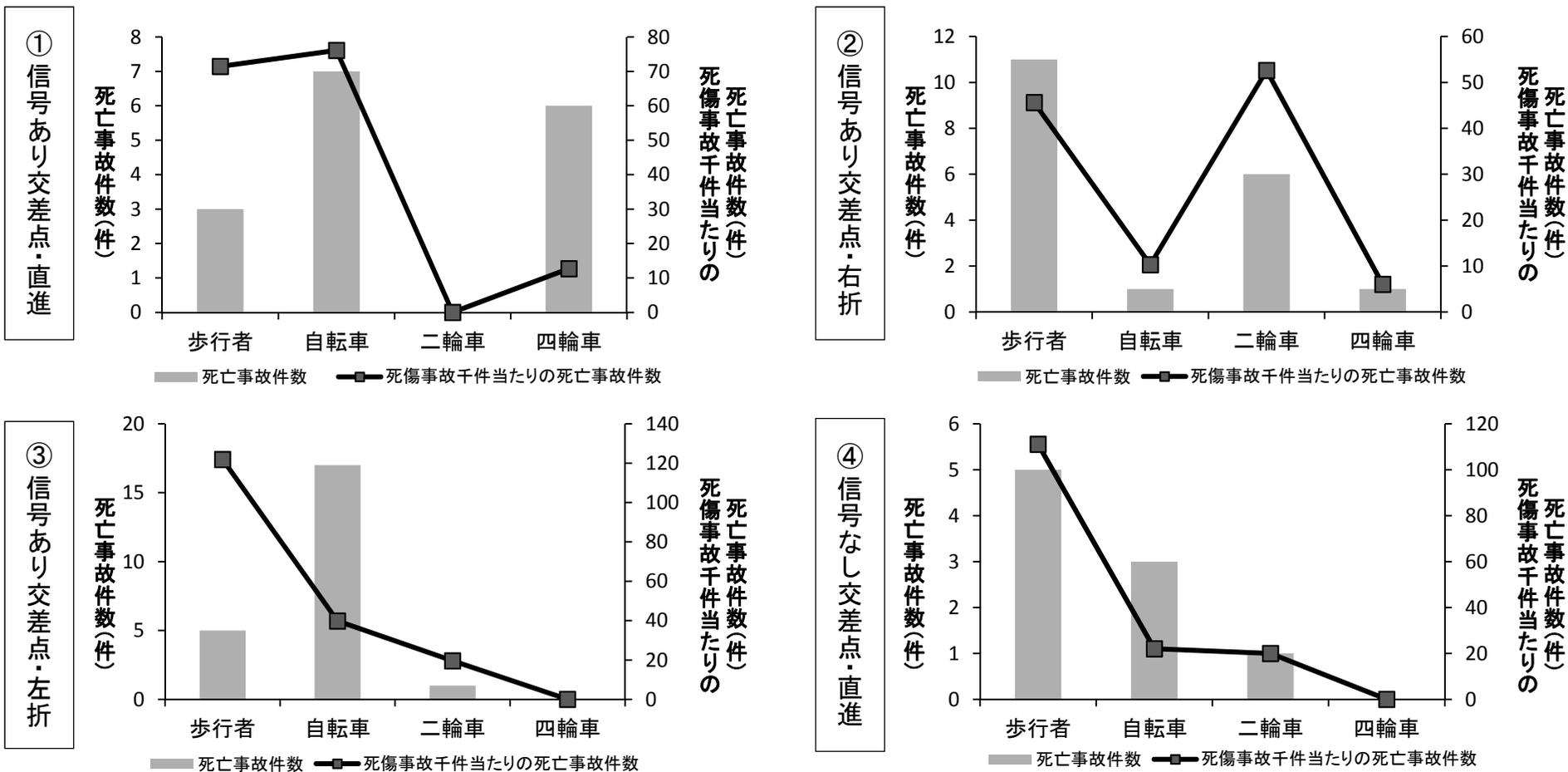


### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ⑤ 交差点進入前に安全確認する

#### 【事故状況】

＜信号有無・自車行動・相手別のトラック人身事故発生状況＞

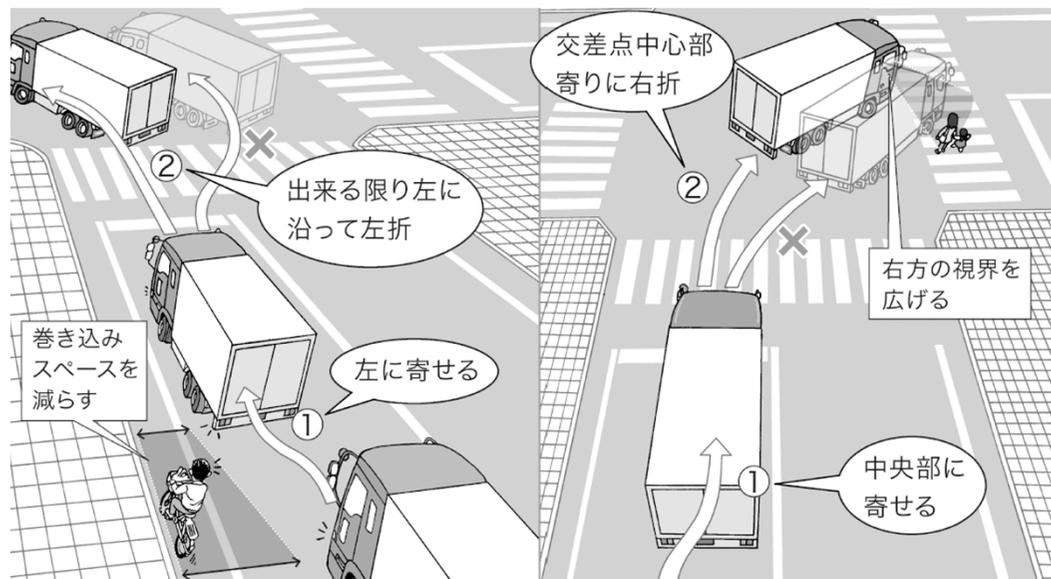


### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ⑥ 適切な軌跡で右折する・左折する

##### 【具体的な取組】

- 交差点手前30mの地点でウインカーを出す。
- 左折時：左側にできる限り寄り、大回りにならないような軌跡で進行する。
- 右折時：道路中央部にできる限り寄り、交差点中心部の内側を小回りにならないような軌跡で進行する。
  - 小回りにならないようにすることで、認知のための環境を作る。(時間確保、視界確保等)

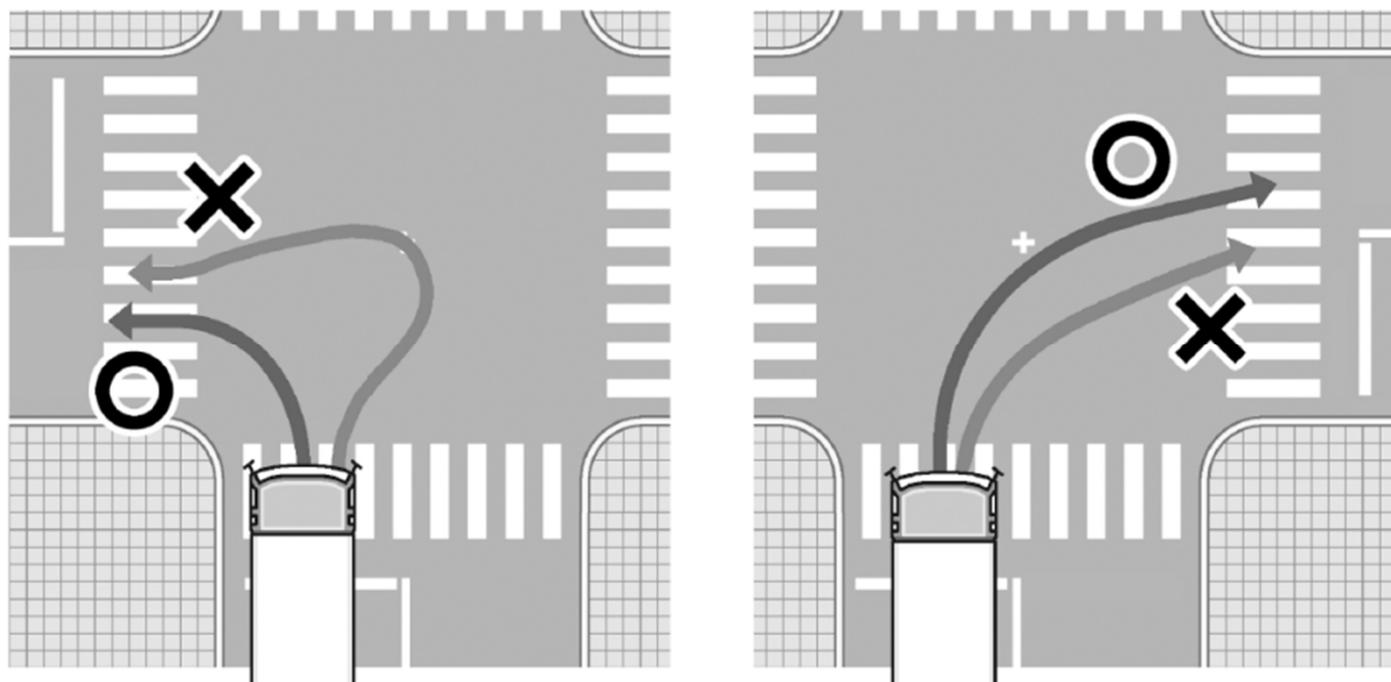


### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ⑥ 適切な軌跡で右折する・左折する

##### 【事件事例】

- 交差点の直前でウインカーを出して曲がろうとしたところ、左後方からの二輪車と接触した。
- 左折時に左寄せをしなかったら、隙間をすり抜けて直進する二輪車と接触した。
- 小回りで右折したところ、右方からの歩行者に接触した。



# MEMO

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

#### ⑦ 交差点内(特に横断歩道手前)で安全確認する

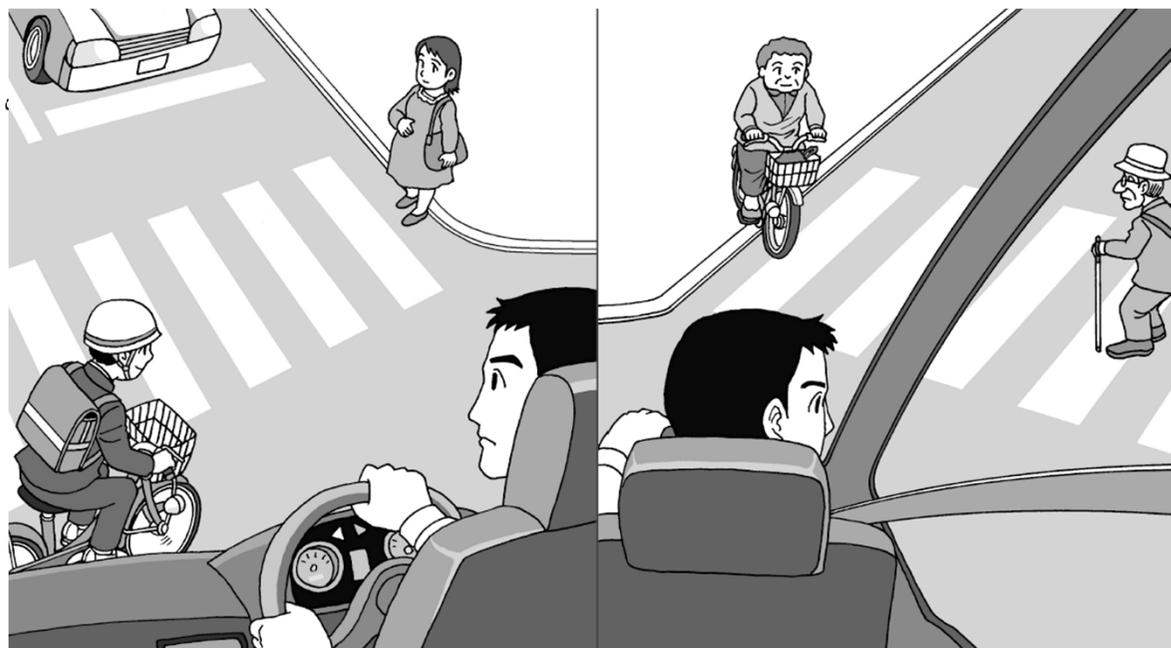
##### 【具体的な取組】

##### ■ 左折時:

横断歩道手前で最徐行又は一時停止し、左右をバランスよく安全確認する。特に、**左方からの自転車**の動向を確認する。

##### ■ 右折時:

横断歩道手前で最徐行又は一時停止し、左右をバランスよく安全確認する。特に、**右方からの歩行者**の動向を確認する。



### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

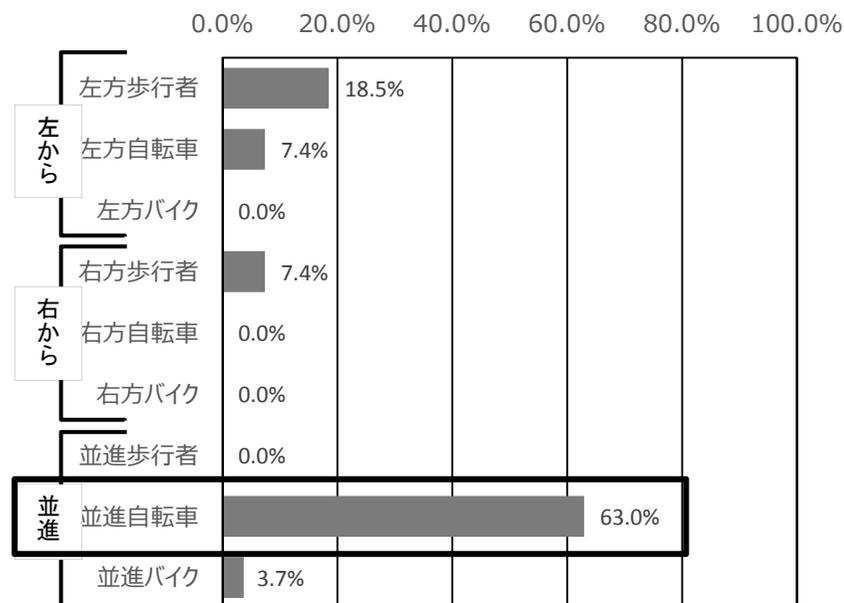
#### ⑦ 交差点内(特に横断歩道手前)で安全確認する

#### 【事故事例】

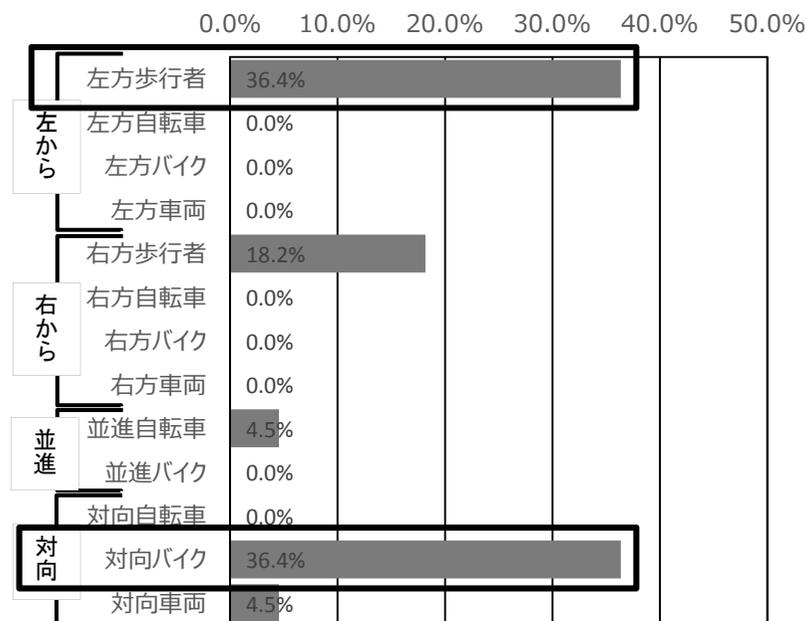
- 左折時の注意不足から、歩道を走行してくる自転車に気づくのが遅れ巻き込んでしまった。
- 右折時に対向車に気を取られ、左側から横断歩道を渡って来る人に気が付かず衝突した。

< 進行方向・相手別のトラック右左折時の死亡事故発生状況 >

#### ① 左折時



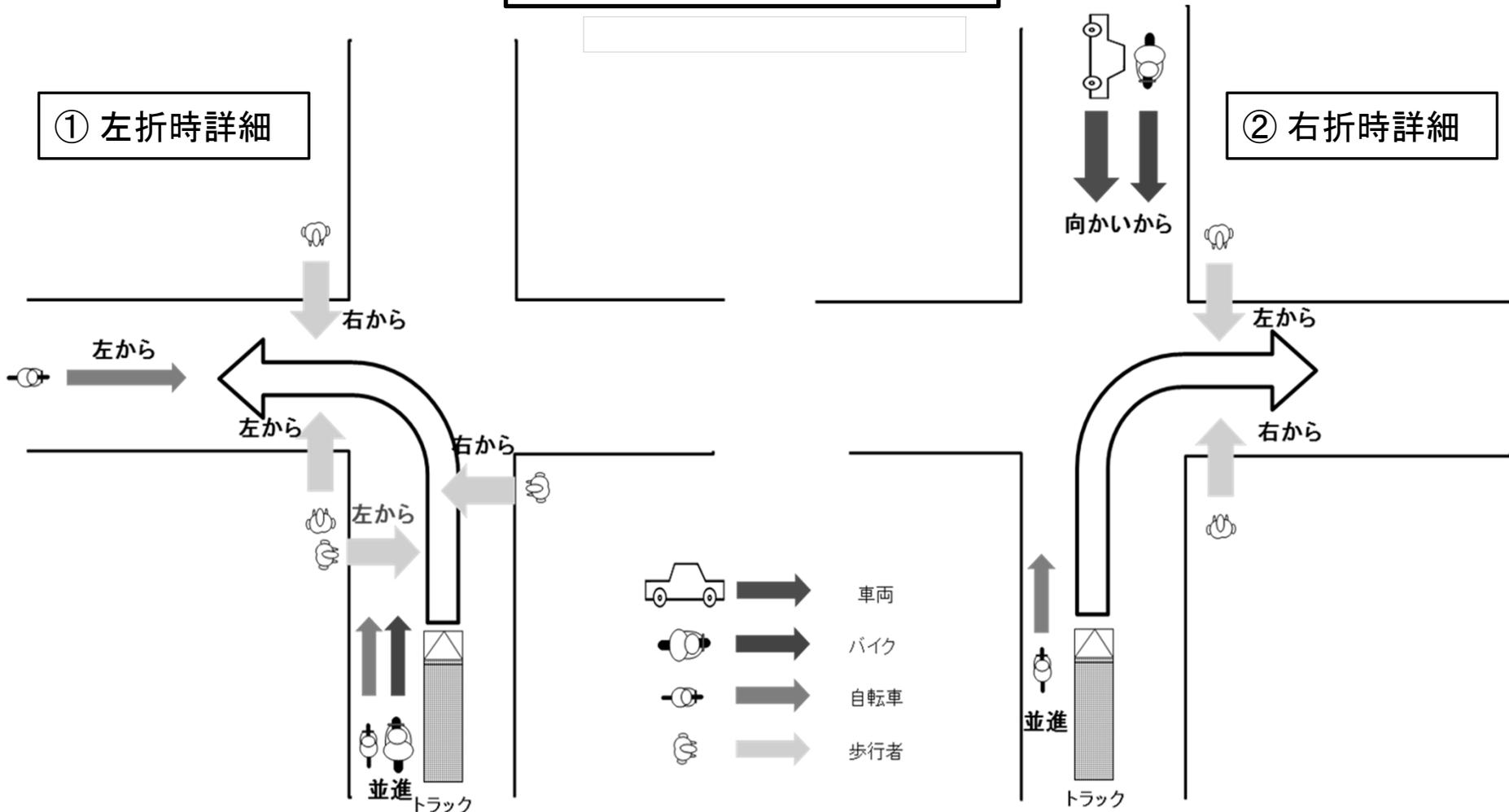
#### ② 右折時



### 3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動

⑦ 交差点内(特に横断歩道手前)で安全確認する

P43の進行方向・相手別の位置関係の解説





## まとめ

### 1. 交通事故の重大性

- トラックの交差点事故は、追突事故について多く発生している。追突事故以上に死亡事故が多い。
- 事故の相手に着目すると、交差点での死亡事故では相手が歩行者・自転車となる事故が3/4を占める。
- トラックの交差点事故は、追突事故の約4.5倍、死亡事故につながる。

### 2. 交差点事故の特徴と要因

- 交差点で多発する事故パターンが明確にある。
- 事故の直接的な要因については危険を認知・判断する段階の要因が9割を占め、その背景には更に様々な要因がある。
- 経営トップ・管理者は、「ドライバーができることを支援する」ことが重要。

### 3. 信号有無・自転車行動別の安全行動

- 交通の場面により、事故の相手に特徴がある。
- 交通の場面毎に、事故防止に特に重要な「7つの安全行動」に取り組み、習慣付ける。

## 4. 参考情報



## 4. 参考情報

### (1) 参考データ

ここでは、前の章までには掲載しなかったものの、取り組みを検討・実施する上で参考となるトラックの交差点事故に関するデータを掲載する。

〈事業用トラックが第一当事者となる人身事故件数の全体像〉

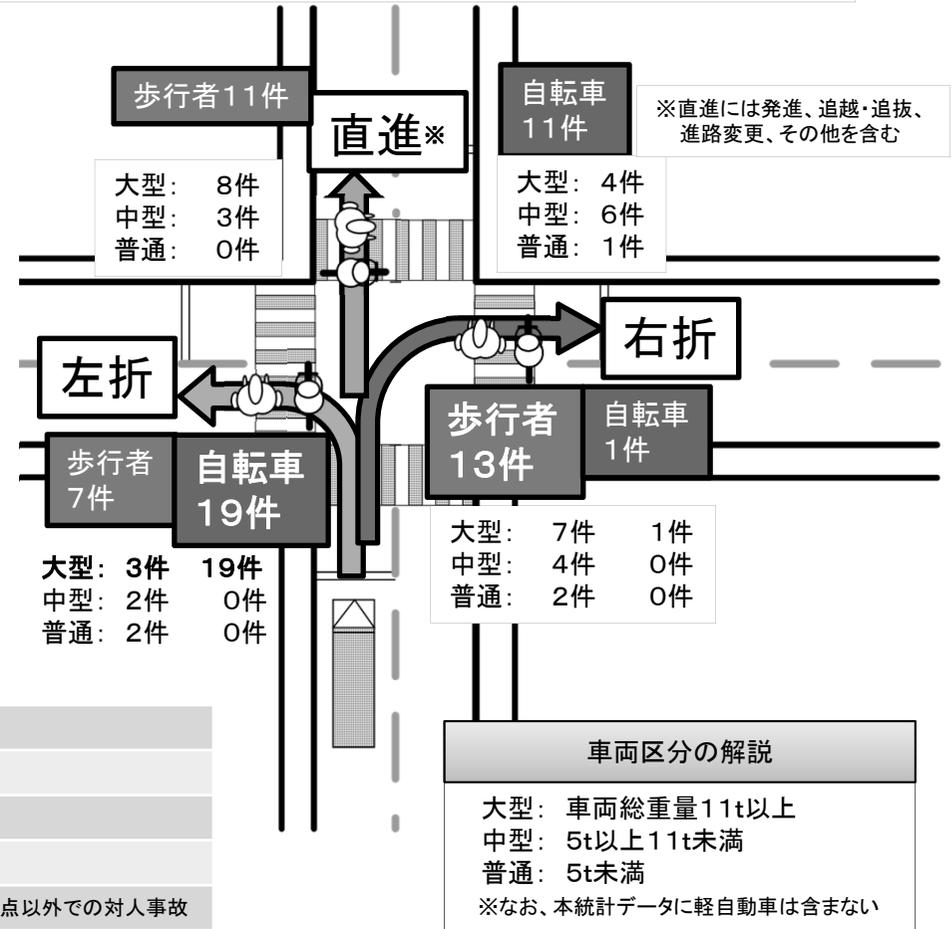
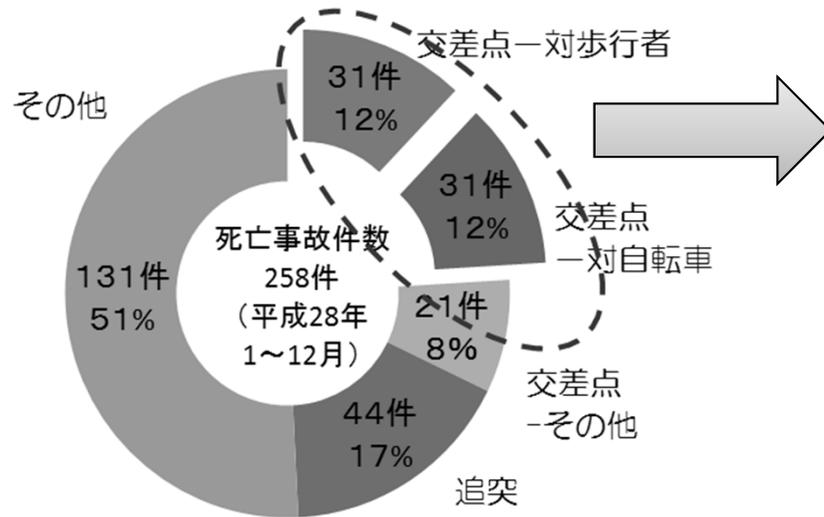
単位(件)

		交差点事故 (除く追突)	追突事故	その他の 事故	事故全体
死傷	大型車	1,109	2,960	1,640	5,709
	中型車	1,375	3,595	1,602	6,572
	普通車	666	1,082	571	2,319
	全体(除く軽貨物)	3,150	7,637	3,813	14,600
死亡	大型車	55	26	69	150
	中型車	22	18	53	93
	普通車	6	0	9	15
	全体(除く軽貨物)	83	44	131	258

# 4. 参考情報

## (1) 参考データ

＜事業用トラックが第一当事者となる、交差点における車種別・自転車行動別・相手別の死亡事故発生状況＞



交差点-歩行者	交差点での右左折及び直進時の対歩行者事故(右図参照)
交差点-自転車	交差点での右左折及び直進時の対自転車事故(右図参照)
交差点-その他	上記以外の交差点での対四輪車・二輪車の事故(追突除く)
追突	対二輪車・自転車を含ま追突事故
その他	上記以外の正面衝突等の車両相互(自転車含む)事故、車両単独事故、交差点以外での対人事故

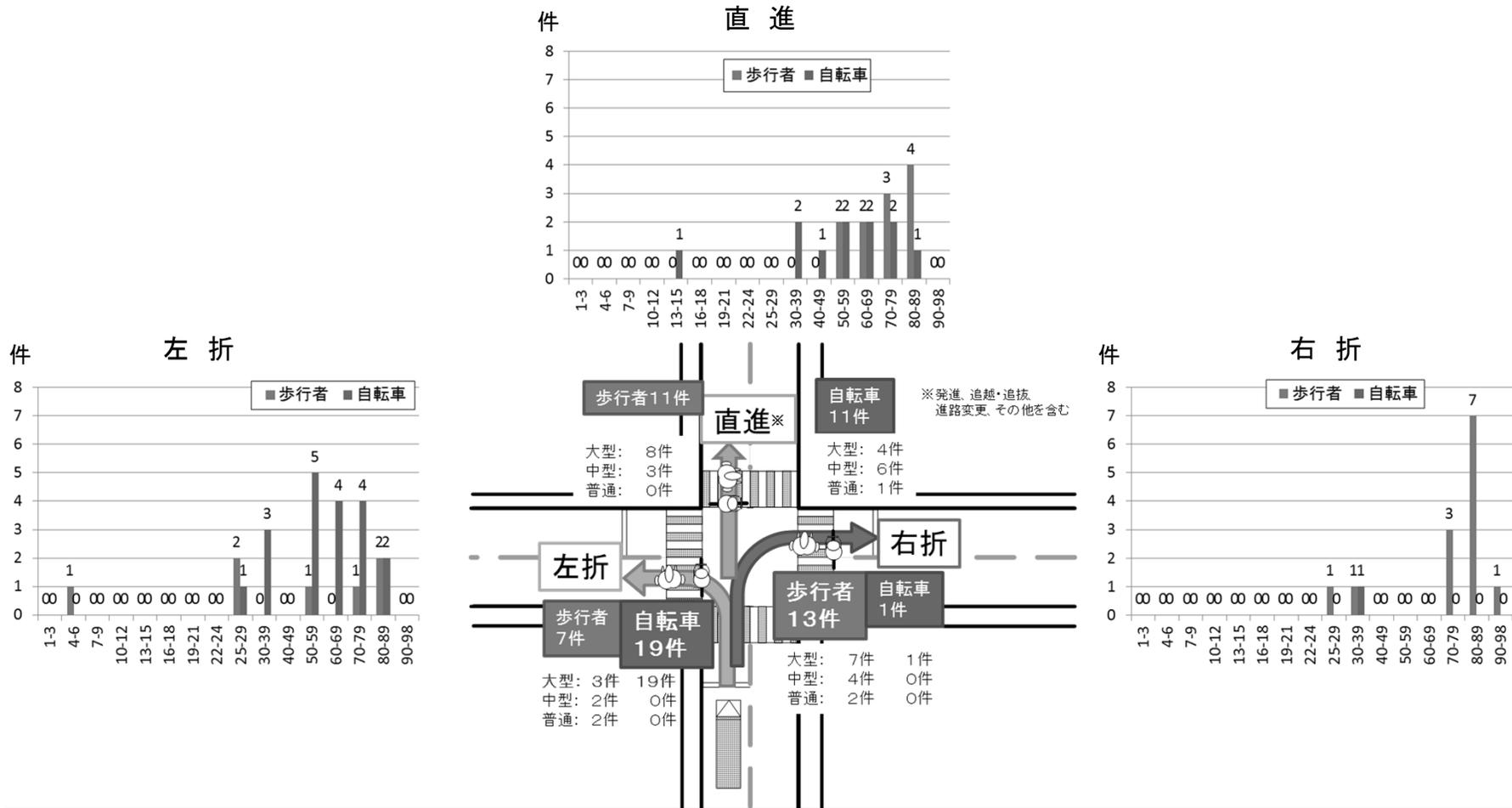
- ・トラックが第1当事者となる交差点での対歩行者／自転車の死亡事故(62件)は、追突事故(44件)の1.4倍。
- ・左折死亡事故は、8割以上が大型車であり、対自転車(19件)が対歩行者(7件)の約3倍。
- ・右折死亡事故は、9割以上が対歩行者(13件)。



# 4. 参考情報

## (1) 参考データ

〈事業用トラックが第一当事者となる、交差点における車種別・自転車行動別・相手別の死亡事故発生状況〉



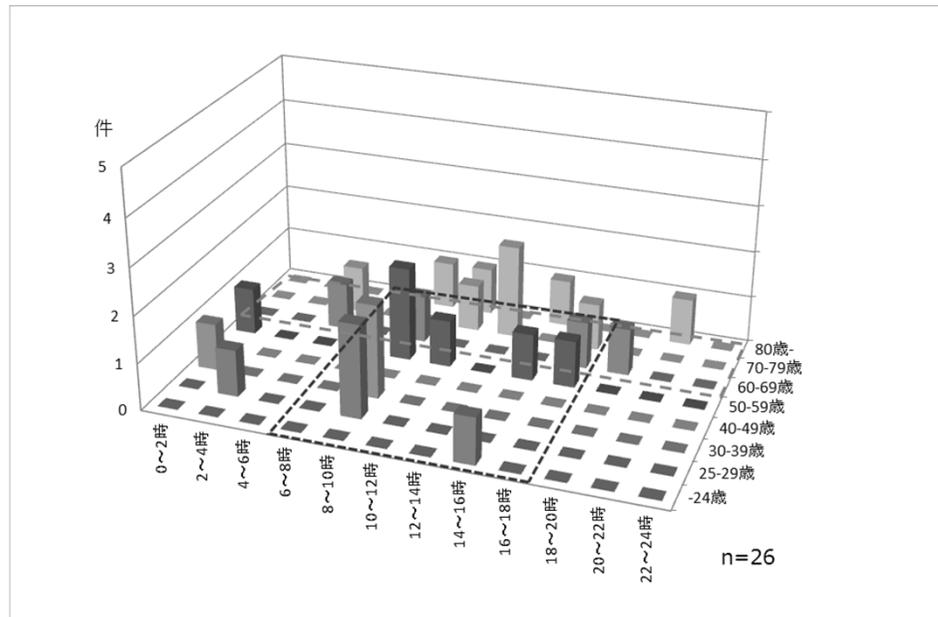
- ・直進時の死亡事故: 対歩行者は8割以上が60歳以上、対自転車は4割以上が60歳以上。
- ・左折時の死亡事故: 20歳から80歳代まで幅広い年齢層の対自転車が多い。
- ・右折時の死亡事故: 対歩行者は8割以上が70歳以上。

## 4. 参考情報

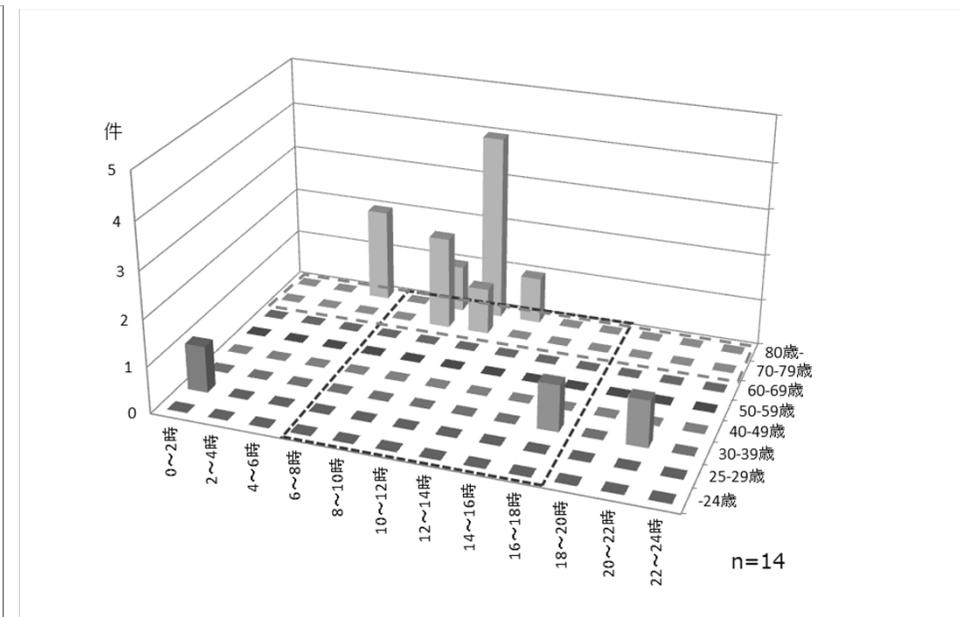
### (1) 参考データ

〈事業用トラックが第一当事者となる、交差点における右・左折別の年齢層別・発生時間別の死亡事故発生状況〉

【左折】



【右折】



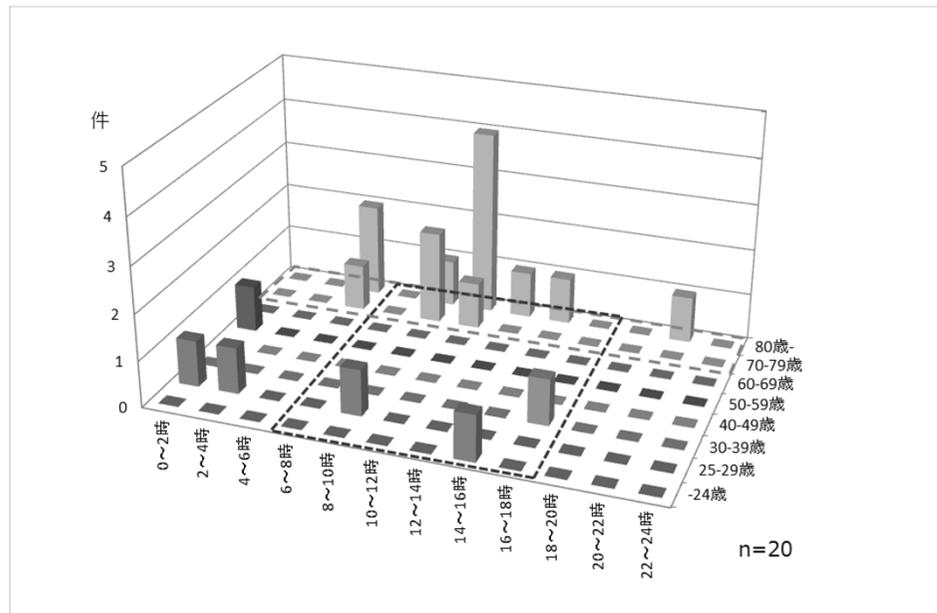
- ・左折時の死亡事故: 相手年齢は60歳以上が13件で5割、発生時間では7割超の19件が昼間(6~18時)に発生、特に8~10時だけで8件と、全体の3割以上。
- ・右折時の死亡事故: 相手年齢は70歳以上が11件で8割、発生時間では7割超の10件が昼間(6~18時)に発生、特に10時~12時だけで5件と、全体の3割以上。

## 4. 参考情報

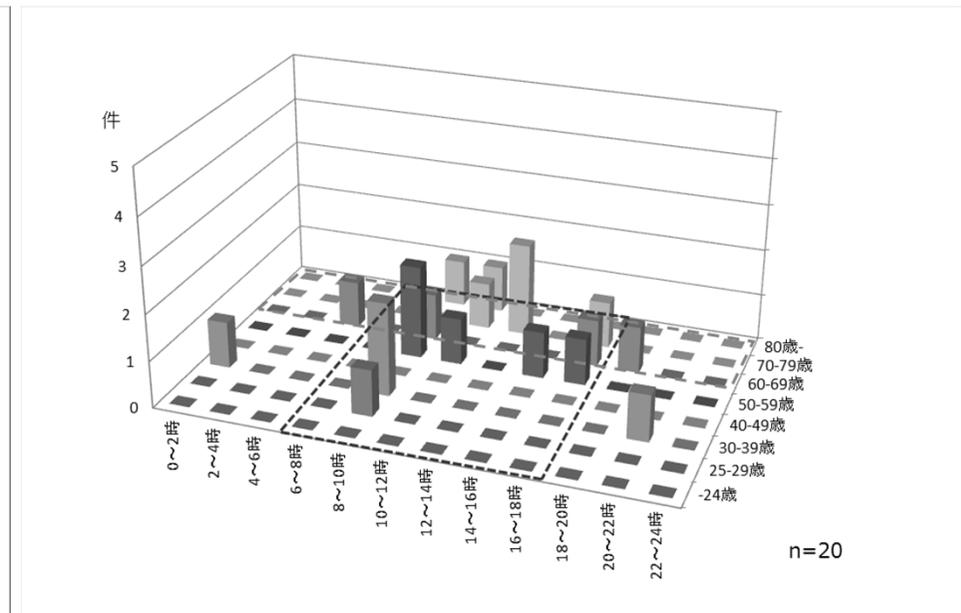
### (1) 参考データ

〈事業用トラックが第一当事者となる、交差点における相手別の年齢層別・発生時間別の死亡事故発生状況〉

【対歩行者】



【対自転車】



- ・対歩行者の死亡事故：相手年齢は70歳以上が14件で7割、発生時間では2/3が昼間(6~18時)に発生。
- ・対自転車の死亡事故：相手年齢は60歳以上が10件で5割、発生時間では8割の16件が昼間(6~18時)に発生。

## 4. 参考情報

### (2) 参考リンク集

ここでは、無料で入手できる、交通安全・事故情報に関する行政・業界団体の情報を掲載する。

#### □ 国土交通省

- 自動車局メールマガジン「事業用自動車安全通信」(自動車局)  
<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/anzenplan2009/mailmagazine.html>
- メールマガ「運輸安全」(大臣官房運輸安全監理官室)  
<http://www.mlit.go.jp/unyuanzen/mailmg.html>
- 「トラック追突事故防止マニュアル」等各種マニュアル  
<http://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/03manual/>

#### □ 公益社団法人全日本トラック協会

- 事業用貨物自動車の交通事故の傾向と事故事例 等  
[http://www.jta.or.jp/member/pf\\_kotsuanzen/kotsuanzen\\_ichiran.html](http://www.jta.or.jp/member/pf_kotsuanzen/kotsuanzen_ichiran.html)
- トラックドライバーが日常行うべき事項  
[http://www.jta.or.jp/member/pf\\_kotsuanzen/nichijyo\\_jiko.pdf](http://www.jta.or.jp/member/pf_kotsuanzen/nichijyo_jiko.pdf)
- 事業用トラックドライバー研修テキスト(全10分冊)(会員専用)
- ドライブレコーダ導入の手引き／ドライブレコーダ活用マニュアル(会員専用)
- トラック事業者のための「健康起因事故防止マニュアル」(会員専用)

# MEMO

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

# 5. 演習回答



## 5. 演習回答

ここでは、各章末に掲載する演習の回答や、演習の進め方について掲載する。

### 【演習1について】

- 「2.交差点事故の特徴と要因」はすべての設問が「○」、それ以外はすべて「×」となる。
- 研修受講者の回答を確認するとともに、研修資料で正解を確認する。

### 【演習2について】

- 以下の流れを参考に経営トップ・管理者が進行役となり演習の進行を促す。
  - ① 受講者の意見を記入する。
  - ② 複数人でそれぞれの記入内容を話し合うよう促す。
  - ③ その際、なぜそう思ったか(日常の運行で感じたエピソード等)を中心に話し合いを促す。
  - ④ 小集団に分かれて行う場合は、各グループで代表者を決め、話し合った内容を発表する。
  - ⑤ 最後に、進行役が内容をまとめる。



# MEMO

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

# 6. 交差点事故防止マニュアル

## ～ 交差点事故撲滅キット～ の活用

## 6. 交差点事故防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～の活用

### (1) 全体像

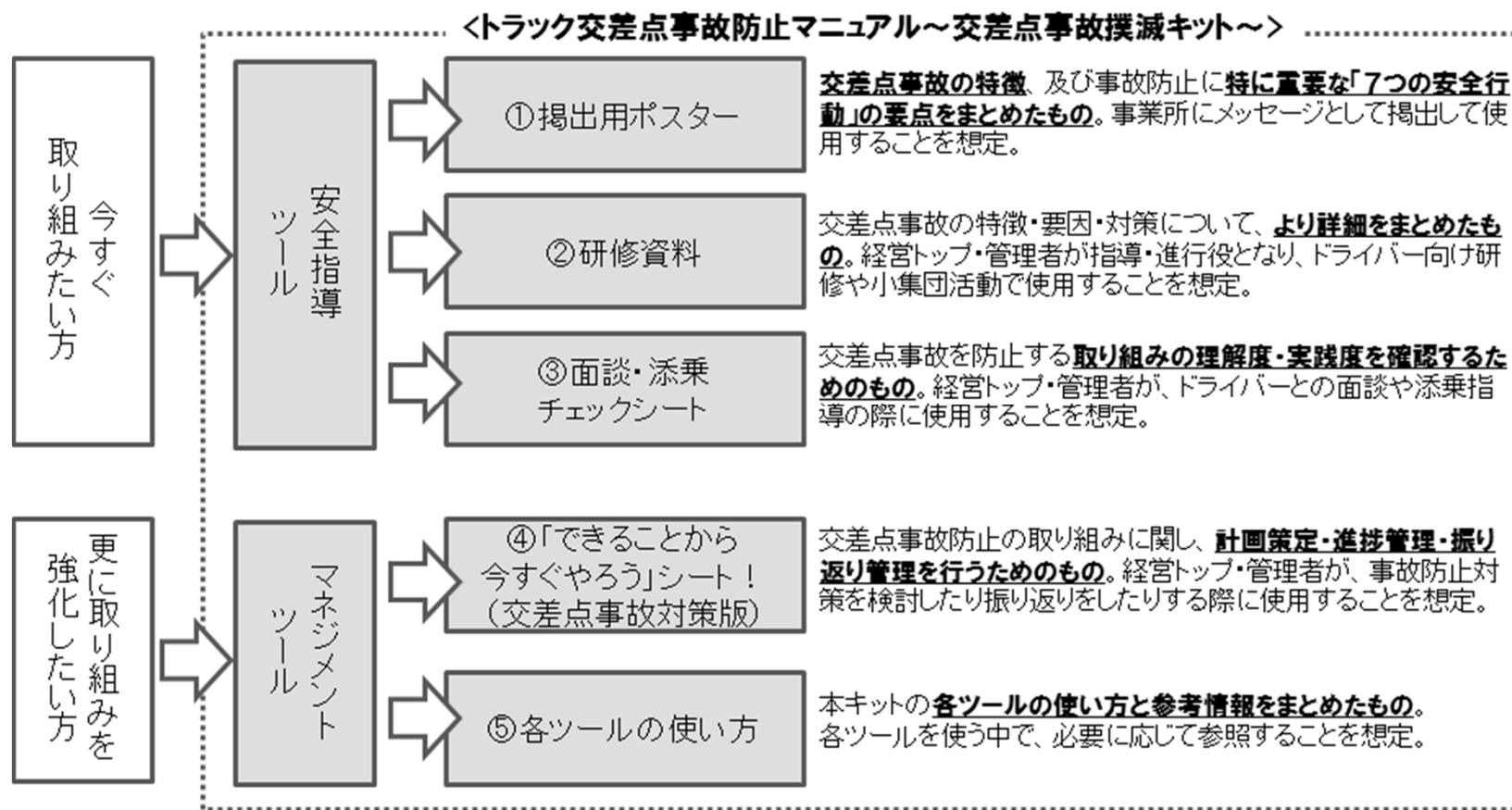
#### ■ コンセプト

できることから

使えるものから

更に強化

#### ■ マニュアルの全体像



## 6. 交差点事故防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～の活用 (2) 現場教育への活用

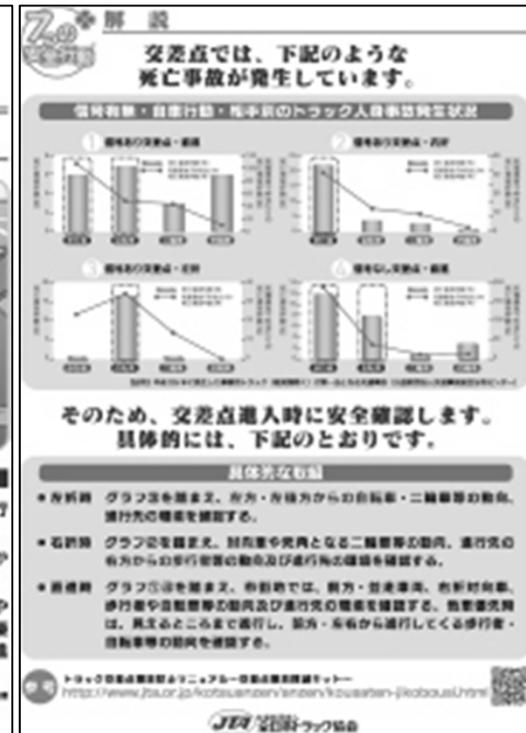
### ■ 掲出用ポスター

- 交差点事故の特徴、及び事故防止に特に重要な「7つの安全行動」の要点をポスターとしてまとめたもの

【事故の特徴×3種類】



【安全行動×7種類】



## 6. 交差点事故防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～の活用 (2) 現場教育への活用

### ■ 研修用資料

- 交差点事故について、重大性と発生状況を正しく理解し、その要因を踏まえて、事故を防ぐ安全行動を体系的に学ぶためのもの

できることから始めよう！  
トラック交差点事故防止マニュアル  
～交差点事故撲滅キット～

【研修資料】

平成29年7月  
公益社団法人全日本トラック協会

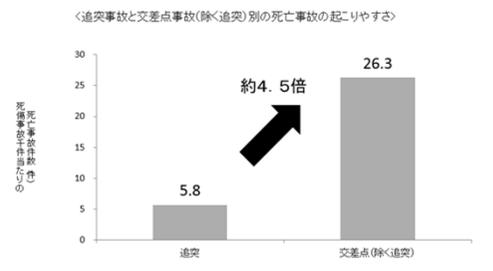


1. 交差点事故の重大性

Q4 追突事故と比較して、事故が起こった場合の被害の大きさは？(死亡事故の起こりやすさは？)

■ トラックの交差点事故は、追突事故の約4.5倍、死亡事故につながる。

＜追突事故と交差点事故(除く追突)別の死亡事故の起こりやすさ＞



事故種別	死亡事故発生数(10,000台あたり)
追突	5.8
交差点(除く追突)	26.3

13

ポイント① 章別構成

ポイント② 座学＋演習形式

ポイント③ 更なる活用に向けて

## 6. 交差点事故防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～の活用

### (2) 現場教育への活用

#### ■ 研修用資料活用上のポイント① 章別構成

目次	
1. 交差点事故の重大性	■ なぜ交差点事故対策が必要か？
2. 交差点事故の特徴と要因	■ どういった事故が多いのか？ なぜおこるのか？
3. 交差点事故を防ぐための7つの安全行動	■ どうしたら防げるのか？
4. 参考情報	■ もっと詳しい情報はないのか？
5. 演習回答	■ 演習はどう進めるのか？
6. 交差点事故防止マニュアル ～交差点事故撲滅キット～の活用	

＜構成＞

■ いつもの教育機会の時間に応じて、章ごと・項ごとに、資料を分割して使用できる



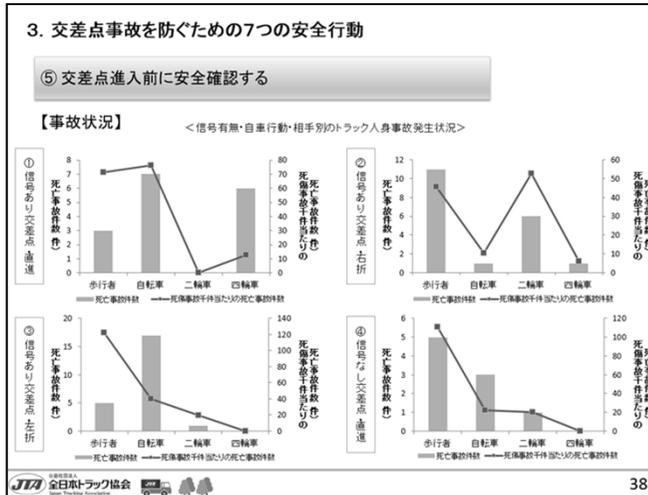
# 6. 交差点事故防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～の活用

## (2) 現場教育への活用

### ■ 研修用資料活用上のポイント③ 更なる活用に向けて

【マニュアルは業界データ】

【自社データを活用した教育】



4. 参考情報

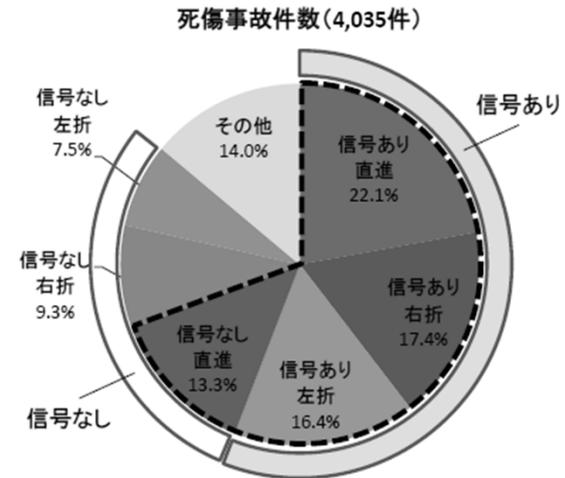
(1) 参考データ

ここでは、前の章までには掲載しなかったものの、取り組みを検討・実施する上で参考となるトラックの交差点事故に関するデータを掲載する。

<事業用トラックが第一当事者となる人身事故件数の全体像> 単位(件)

		交差点事故 (除く追突)	追突事故	その他の 事故	事故全体
死傷	大型車	1,109	2,960	1,640	5,709
	中型車	1,375	3,595	1,602	6,572
	普通車	666	1,082	571	2,319
	全体(除く軽貨物)	3,150	7,637	3,813	14,600
死亡	大型車	55	26	69	150
	中型車	22	18	53	93
	普通車	6	0	9	15
	全体(除く軽貨物)	83	44	131	258

JTA 全日本トラック協会



## 6. 交差点事故防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～の活用 (2) 現場教育への活用

### ■ 面談・同乗チェックシート

- 交差点事故を防止する取り組みの理解度・実践度を確認するためのもの
- 経営トップ・管理者が、ドライバーとの面談や添乗指導の際に使用することを想定

1		2	
防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～		日付	ドライバー
③面談・添乗チェックシート			
場面	安全行動	具体的な取組	
		ドライバー	管理者
事前の環境整備	整理・整頓して視界を確保する	<input type="checkbox"/> 助手席下の窓やミラー、目視で外部を適切に確認できるよう、車内を整理・整頓する。 <input type="checkbox"/> わき見につながるものを手の届かないところにおく。(伝票、ルートマップ、携帯電話等) <input type="checkbox"/> 車両手前の視界を確保するために、適切な運転姿勢を保つ。 <input type="checkbox"/> 死角が少なくなるよう、ミラーを調整する。(左右のミラー、アンダーミラー等)	
事前の環境整備	適度な緊張感を持ち自己管理する	<input type="checkbox"/> 眠気や疲れを感じたら、早めに休憩をとる。 <input type="checkbox"/> 渋滞等により運行に遅延が生じて、焦らず管理者に連絡する。 <input type="checkbox"/> 早く業務を終わらせたい気持ちを落ち着かせる。	
事前の環境整備	事故リスクの少ないルートを選択する	<input type="checkbox"/> 特に事故リスクの高い信号あり交差点の右折を避けるよう、できる限り「右折」の少ないルートを選択する。 <input type="checkbox"/> 事故リスクの多いルートについては、危険箇所を報告・共有する。 <input type="checkbox"/> 【右左折時】安全確認するため、交差点進入前に十分減速、徐行又は一時停止する。 <input type="checkbox"/> 【直進時】ブレーキを踏めるようにする。他車優先時は、停止線で一時停止する。 <input type="checkbox"/> プロとして、相手を見つけたら譲る。 <input type="checkbox"/> 十分手前から信号を確認し、イエローストップする。	
交差点進入前の構え	ブレーキペダルに足をおき危険に備える	<input type="checkbox"/> 【左折時】左方・左後方からの自転車・二輪車等の動向及び進行先の環境を確認する。 <input type="checkbox"/> 【右折時】対向車や死角となる二輪車等の動向、進行先の右方からの歩行者等の動向及び進行先の環境を確認する。	
交差点進入前の認知	交差点進入前に安全確認する	<input type="checkbox"/> 【直進時】市街地では、前方・並走車両、右折対向車、歩行者や自転車等の動向及び進行先の環境を確認する。他車優先時は、見えるところまで進行し、前方・左右から進行してくる歩行者・自転車等の動向を確認する。	
交差点進入前～交差点内の構え	適切な軌跡で右折する・左折する	<input type="checkbox"/> 交差点手前30mの地点でウインカーを出す。 <input type="checkbox"/> 【左折時】左側にできる限り寄り、大回りにならないような軌跡で進行する。 <input type="checkbox"/> 【右折時】道路中央部にできる限り寄り、交差点中心部の内側を小回りにならないような軌跡で進行する。 <input type="checkbox"/> 【右折時】横断歩道手前で最徐行又は一時停止し、左右をバランスよく安全確認する。特に、右方からの歩行者の動向を確認する。	
交差点内の認知	交差点内(特に横断歩道手前)で安全確認する	<input type="checkbox"/> 【左折時】横断歩道手前で最徐行又は一時停止し、左右をバランスよく安全確認する。特に、左方からの歩行者の動向を確認する。 <input type="checkbox"/> 【右折時】横断歩道手前で最徐行又は一時停止し、左右をバランスよく安全確認する。特に、右方からの歩行者の動向を確認する。	
3		コメント(管理者)	

### <構成>

- ① 7つの安全行動
- ② 実施状況を、ドライバー本人、管理者それぞれが確認
- ③ それぞれのコメントを記載

### <ポイント>

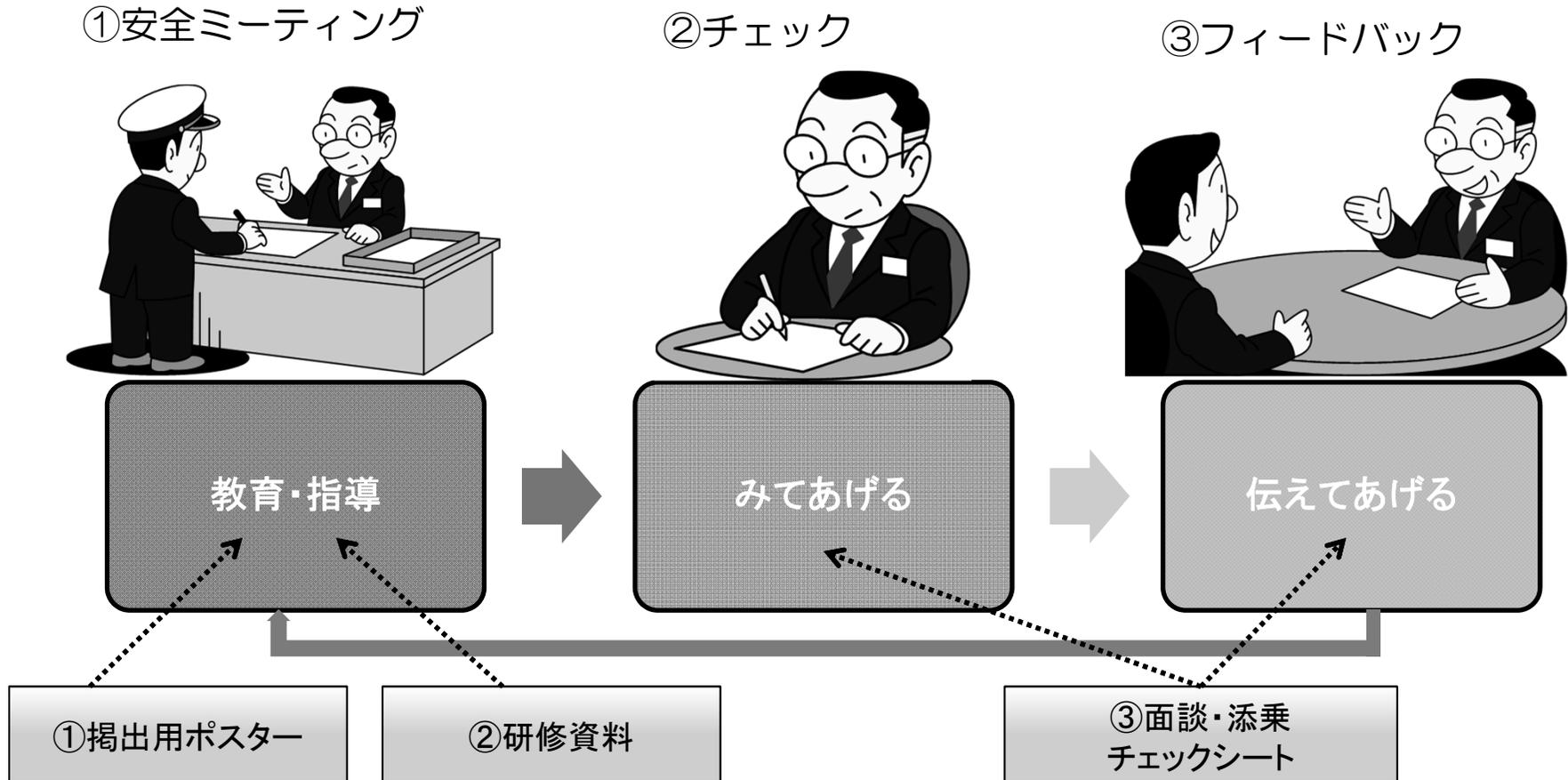
- 指導したことができているか、自己評価し、管理者が更に評価
- 自己評価と管理者評価に差がある部分を中心に指導
- 裏面は自社独自の目標を入れるひな形

## 6. 交差点事故防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～の活用 (2) 現場教育への活用

### ■ 現場教育の流れ(取組例を参考として)

- 教育・指導でのコミュニケーションのポイントは、「指導・教育 ⇒ みてあげる ⇒ 伝えてあげる⇒指導・教育…」というサイクルがあること

#### 安全運転教育の例



## 6. 交差点事故防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～の活用

### (3) マネジメントへの活用

#### ■ 「できることから今すぐやろう」シート！

- 交差点事故防止の取り組みに関し、計画策定・進捗管理・振り返り管理を行うためのもの
- 経営トップ・管理者が、事故防止対策を検討したり振り返りをしたりする際に使用することを想定

トラック追突事故防止マニュアル  
～交差点事故撲滅キット～

#### ④「できることから今すぐやろう」シート

このシートは、交差点事故防止を中心に、その他の事故防止も含めて安全の取り組みを設計できるシートです。  
このシートを活用する上でわからないことがある場合は、国土交通省「トラック追突事故防止マニュアル」の該当ページのみ参照してください。  
その場合、「追突事故」を交差点事故と読み替えてください。

トラック事業者にとって追突事故・交差点事故は多発・重大事故で最重要課題

自社で起こっていかなくても、多発事故リスクはしっかり対策しよう！

<当社の社風>

どのように取り組んできた？ P.9 事故の発生状況は？ P.9 良かった点・反省点は？ P.9

安全や危険の目標は？ P.13 安全や危険の目標は？ P.10

まず、交差点事故防止に、何が注目すべき？ P.12-13

今後、何処したい？今後、何をやる？ P.12-13

まず、3つだけ考えよう！

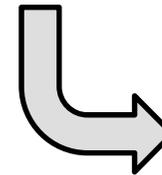
実際に実施できた？ P.14

結果は？ P.14 事故は減った？安全になった？ P.14

次のページに、記入例があります。

トラック追突事故防止マニュアル

検索



【現場管理者向け】  
トラック追突事故防止マニュアル  
～できることから今すぐやろう！～

**STOP!**

平成24年3月  
国土交通省自動車局  
自動車運送事業に係る交通事故要因分析検討会

これは、「できることから今すぐやろう」シートを活用するための解説マニュアルです。  
実際に取り組むことが重要ですので、初めから読む必要も、全てを読む必要もありません。  
シートを作成する上でわからないところを把握するようにしてください。



## 6. 交差点事故防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～の活用 (3) マネジメントへの活用

### ■ 「できることから今すぐやろう」シート！（交差点事故対策版）の構成

トラック交差点事故防止マニュアル  
～交差点事故撲滅キット～

#### ④「できることから今すぐやろう」シート

このシートは、交差点事故防止を中心に、その他の事故防止も含めて安全の取り組みを検討できるシートです。  
このシートを活用することでわからないことがある場合には、「国土交通省・トラック交差点事故防止マニュアル」の該当ページのみ参照してください。  
その場合、「追突事故」を交差点事故と読み替えてください。

トラック事業者にとって追突事故・交差点事故は多発・重大事故で最重要課題  
トラック交差点事故防止マニュアル 専用ページ

自社で記述していき、多発事故リスクは「しっかり対策しよう！」

＜当社の社風＞ P.9

どのような取り組みをしてきた？ P.9 事故の発生状況は？ P.9 既かつた点・反省点は？ P.9

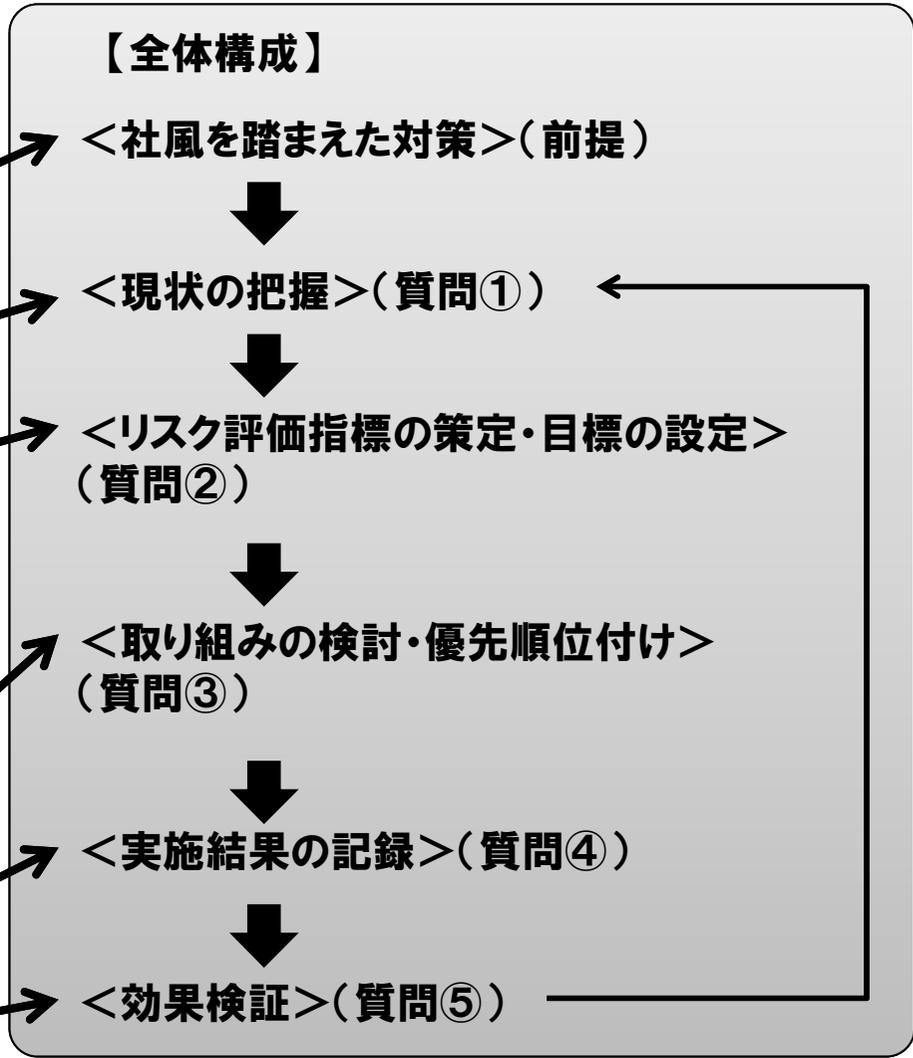
安全や危険の目標は？ P.11 どのように会社に安全意識が高いと感じる？ P.10

今後、何をしたい？ 今後、何をやる？ P.12-13

まず、3つだけ考えよう！

実施結果の記録 P.14

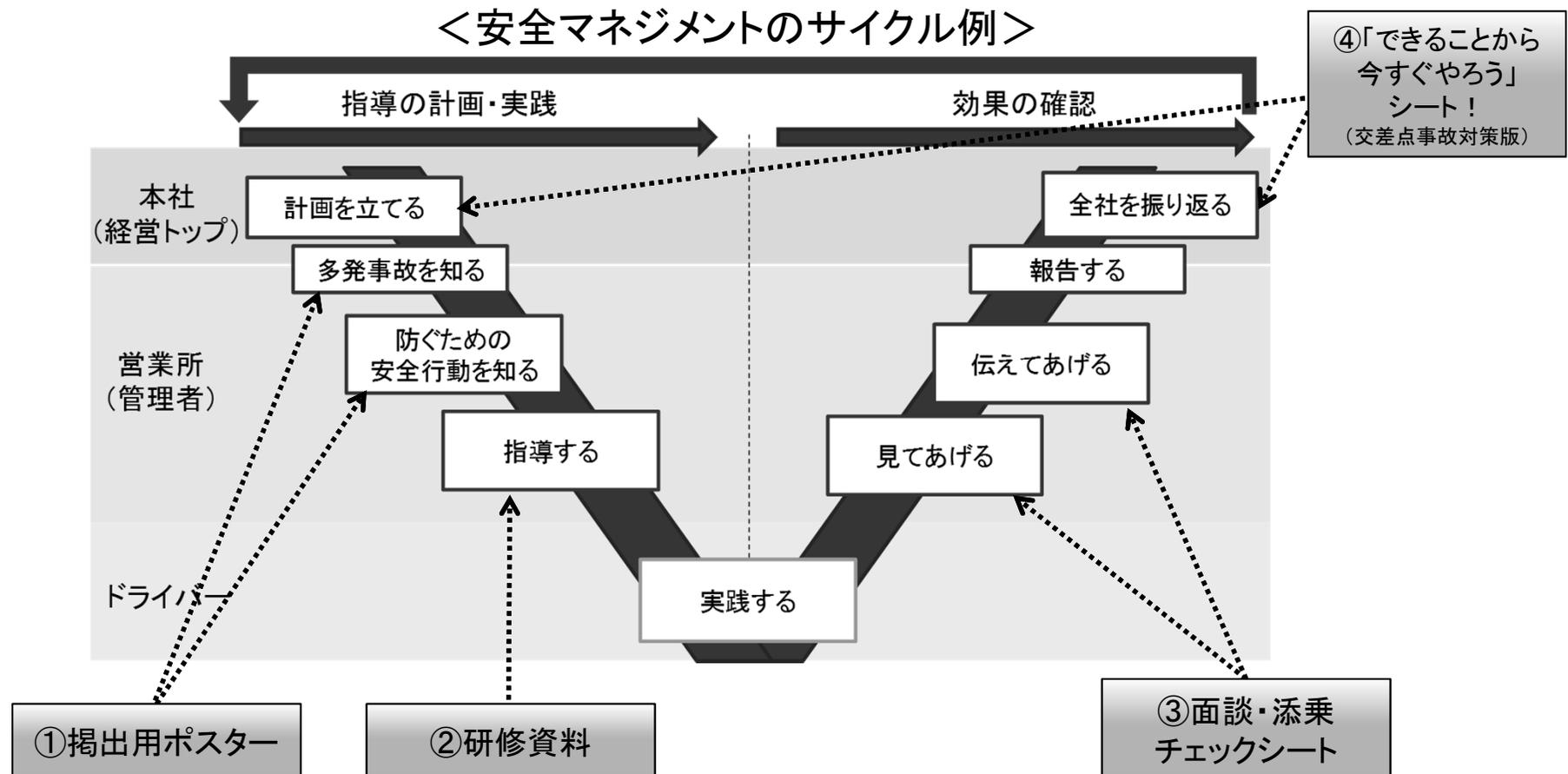
効果検証 P.15



## 6. 交差点事故防止マニュアル～交差点事故撲滅キット～の活用 (3) マネジメントへの活用

### ■ (参考) 全社での取組

- 「ドライバーができること」を支援する視点
- 教育・指導を中心にした安全マネジメント取組例と今回のマニュアルとの関係



できることから始めよう！これまでの取組みを強化しよう！  
これからも事故のない、安全な事業運営を祈念しています。

**公益社団法人全日本トラック協会**  
**〒160-0004**  
**東京都新宿区四谷三丁目2番5**

**ホームページ**  
**<http://www.jta.or.jp/>**

**制作協力**  
**東京海上日動リスクコンサルティング株式会社**